京城日報

八日夕刊

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社

○我徴發隊に發砲す
暴行巡警五名を捕ふ

公主嶺守備隊より荷馬車徴發に派遣せられたる我兵一行は七日朝支那街に於て徴發に從事中突然支那巡警の發砲を受け我兵之に應戰し暴行巡警五名と銃劔を押收し歸還せり(長春電報)

○支那側借款成立を急ぐ

第二次借款に就き日英露佛四國代表者と支那側との間に意見の交換あり●たり支那は切りに成立を急げる模樣なり(北京特電)

(別報)五國借款進行し日英露佛との交渉終了し支那政府との内談も大に進捗せり借款額は九千萬圓なりと謂ふ(上海電報)

○鹽税剩餘金交付承認

五國財團より鹽税剩餘金五百萬元を支那政府に交付するの件は我政府に於ても承認を與へたり(東京電報)

○希臘豫備兵召集延期
獨逸市民放逐終了

雅典來電に曰く、獨逸市民の國外放逐は七日を以て終了すべし希臘豫備兵の召集は一時延期されたり(倫敦電報)

○羅軍オルドウアを占領す

維也納來電に曰く、羅馬尼軍はトランシルヴアニア州オルトヴアを占領せり(紐育電報)

○ヴエルダン攻撃の失敗
獨逸各新聞紙の悲觀

獨逸各新聞紙は今やヴエルダン攻撃が單に軍事上のみならず精神上にも失敗に終りたるを認め英佛軍が前進するに對し更に不安の念を漏し居れり(倫敦電報)

○ソンム戰況

巴里來電=六日夕刻發表の公報に曰くソンム北方には猛烈なる砲戰行はれつゝあるも歩兵の攻撃なしソンムの南方にては我が軍は決戰の後數個の重要地點を占領し多數の捕虜を獲たりベルヒンビウーとシリー間の戰鬪は特に猛烈を極め我軍はベルモンビラーの北部を奪取せり(倫敦電報)

○佛軍占領

伯林來電=公報に曰く、佛軍はクレリーを占領せり(倫敦電報)

○張氏就任
殘るは唐氏のみ

張司法總長は七日就任を通告せり此の上は唐氏就任せば段内閣は完全に成立すべし(北京特電)

○寺内總督動靜

寺内總督は七日奈良著八日高野山に登る由(大阪特電)

◎滿鐵三線問題

滿鐵會社は三線連絡運賃距離比例案改正に關し内閣に向つて陳情せり(東京電報)

○虎疫と外航船
大阪長崎寄港を避く

外國航路に從事しつゝある各汽船會社の船舶は大阪長崎兩地を虎列剌病流行地と認め寄港を避くるに至れり(東京電報)

○江原素六氏

貴族院議員江原素六氏は八日朝入港の新羅丸にて釜山著同十時三十分發急行列車にて北行せり(釜山特電)

▲訂正 昨八日本紙第二面『朝鮮簡易保險と相違點』と題する東京特電中執行は失効、覆滅は復活、機關は期間の誤りに付訂正す

◎政務總監饗宴

山縣政務總監は既記の如く八日午後三時より經學院副提學李容植子爵以下各道講士一同を官邸に招待茶菓の饗應あり總督府よりは宇佐美長官、小松局長、秋山參事官、弓削學務課長、高橋武官等參列し又た李完用伯も列席したり

◎軍司令官著任

新駐箚軍司令官秋山好古中將は八日午前八時四十分龍山驛著列車にて竹内高級副官安藤高級參謀野津副官を隨へ公式に著任せしが停車場には山縣政務總監大島宇佐美兩長官外主なる勅奏任官立花師團長古海警務總長白水軍參謀長以下軍師團憲兵隊武官民間側は野田東拓副總裁水越鮮銀理事原田會頭高野三井支店長西村一銀支配人馬詰東亞所長外多數にて司令官は野津副官と馬車に同乘儀仗兵の先驅にて堵列兵の前を過ぎ官邸に入れり

▲官邸の伺候式 秋山駐箚軍司令官は八日朝著任後午前九時半より官邸大廣間にて白水軍參謀長以下司令部幕僚軍直屬陸軍官廳武官立花師團長以下第十九師團所屬の上長官以上の伺候式を行ひしが十時終了

□問題の徐秘書長 國務院秘書長にして陸軍中將たる徐樹錚は段總理唯一の部下にして恰も故袁氏に於ける梁士詒に比すべく孫内務總長の如きは其獨斷を怒りて辭職を申出たり之れ彼の剛腹なる容貌と如才なき應接振りに接したる者の皆意外とする處なり、今や此若冠者は諸方面の反感を買ひ爲めに段氏も亦た兎角の評を受く寫眞は即ち其人なり

◎著任後の司令官

秋山駐箚軍司令官は九日午前十時軍司令部に登廳司令部高等官及び判任官に對し別々に一場の著任挨拶を行ひ午後は先づ官邸に山縣政務總監を訪ふて著任の挨拶並に出迎ひの答禮を述ぶべく同邸辭去後各長官外勅任官並に東拓鮮銀重役之れに準ずる民間有志の出迎者の主なる人々に答訪すべく又十一日午前には司令部にて京城在住の各部長より部内の狀況報告を受け午後は山縣政務總監と倶に昌德德壽兩宮に伺候著任の御挨拶を申上げ更に李堈公李埈公を敬訪すべしと

◎太王誕辰祝賀

八日は李太王殿下第六十四回の御誕辰日に付き李王同妃兩殿下は午前九時昌德宮御出門德壽宮に李太王殿下を訪はれ御慶びの詞あり、また山縣政務總監は正午藤波通譯官を代理として德壽宮に派し御誕生日祝賀の意を述べしめたり因に李王殿下の御歸還は同日午後十一時の筈なり

◎德壽宮午餐會

德壽宮にては李太王殿下御誕辰祝賀の爲め八日午前十一時三十分より宮内に午餐會の催しあり、李王同妃兩殿下を始め李堈公李埈公各殿下、朝鮮貴族等出席し又た總督府よりは各部長官局長等參列せり

◎鑛業登録高

八月中の鑛業登録高は出願件數二百三十件にして其の内受理百三十八件、不受理九十二件、登録税收入額九千四百七十二圓を示し之れを五六兩月に比すれば多少の減少なるも前月に比すれば登録件數及び登録税額共に若干の增加を見たり

◎鐵道新線開業

九月二十一日より咸鏡線文川永興間の鐵道運輸營業を開始する旨八日の官報告示を以て發表されしが新線の停車場及び哩程は左の如し

(既設停車場)
文川
龍潭 文川より九哩
高原 龍潭より四哩七分
永興 高原より七哩七分

但し龍潭停車場にては當分の間大小荷物の取扱ひをなさずと

◎北鮮鐵道と建設事務

從來咸鏡線清津會寧間の鐵道建設事務を管掌しゐたりし清津建設事務所の所管監域は今回從來の外に輸城、鏡城間に擴張されたり

◎地査委員總會

高等土地調査委員會にては九日午後一時より總督府第一會議室に於て委員總會を開き土地査定不服申請に對する協同的決定事項に就き協議打合せを爲すことゝなれり

◎辭令

九月五日付左記の如く辭令あり八日鮮令の傳達ありたり

龍山憲兵分隊長憲兵中尉 矢野助藏
任陸軍憲兵大尉

◎鮮銀の海外派員

朝鮮銀行にては內外經濟界の情勢に鑑み今回其行員を英國倫敦、米國紐育、露都ペトログラード並に上海に出張せしむる事となり左記の諸氏に對し七日夫々出張の辭令を交付したり

倫敦 東京支店長司事 吉田節太郎
同 東京支店在勤 孫田秀春
紐育 營業課長司事 佐藤得四郎
同 釜山支店在勤 水間美樹
ペトログラード 檢査役司事 堤嘉三
上海 書記 高橋武夫
同 同 冷牟田清

右の内倫敦紐育ペトログラード出張員の在外期間は何れも六箇月にして上海出張員は一年間なりと

◎新設小學校問題

京城學校組合の新設小學校敷地問題に關しては既報の如く六日開會の組合會議に於て秘密會議を開き議員の意嚮を徴したる所明治町の元善隣商業學校を借用せんとするもの、高等女學校の移轉を行はんとするもの等十人十種の說を出し何れにせよ評議院は京城現在の市勢に適合せずとの理由の下に反對の意志を表明したるため府尹は追て協議を遂ぐ可き旨を約して當日は散會したるが更に七日は午前十時より石原事務官及び大山學務主任は善隣學校跡を視察したる上八日午前十一時より府尹室に於て協議會を開き田中四郎、山口太兵衛、小川船太郎、執行猪太郎、曾我勉の各議員出席府尹及び事務官學務主任等と打合せたる上一應實地の踏査を要すべしと爲し明治町の善隣商業跡を視察し再び府尹室に於て打合を爲し午後一時頃散會したるが近く本會議に

◎松永長官歸任 松永京畿道長官は母堂逝去の爲め東上中なりしが九日午前八時五十分南大門著列車にて歸京すべしと

◎中井博士入京 金剛山植物研究の爲め同地方に出張中なりし同氏は七日夜入京若草町蔦松旅館に滯在中なり

◎山縣氏退京 先に入京政務總監邸に滯在中なりし山縣辰吉氏夫妻は八日午前南大門驛發汽車にて退京したり

◎江原素六氏入京 京城に於ける基督教協同傳道の講師として入京の途中にある貴族院議員麻布中學校長江原素六氏は八日午後九時南大門著にて入京京城ホテルに投宿すべしと

◎豐永博士當分靜養 中央試驗所長豐永博士の病狀に就ては既報の如くなるが其後の經過益々良好にて七日頃より重湯の滋養食を取ることを許さるゝまでに至りたり尚ほ今後二週間位の靜養を要すべしと

◎新任鮮銀支店長招宴 今回平壤支店長より本店に榮轉したる阿部秀太郎氏及び新任平壤支店長津村甚之助氏は七日午後七時より平壤の官民有志七十名を大同館に招待し轉任及び新任の披露を爲したり

◎七十九聯隊長著任 大田歩兵第七十九聯隊長富塚貞一郎氏は七日午後十一時二十三分著列車にて著任せしが驛には將校及び有志者多數の出迎ありたり(大田)

◎松尾主計正著任 軍司令部附より第十八師團經理部長に轉せる中村主計正の後任松尾經喜氏は前任地東京砲兵工廠より七日著任今朝挨拶の爲め各官署を歷訪せり

◎鮮滿急行延著 東淸鐵道線急行列車遲延の爲め八日の鮮滿直通列車は安東驛にて一時間二十分を遲延せり

◎永田丸檢査終了 大阪永田三十郎氏の購入船永田丸朝鮮入籍申告に就ては既報せしが遞信局より技術官神戸に出張船舶檢査中の所此程終了技師等は歸任したりと

安東縣

▲殿下奉迎送協議 閑院宮載仁親王殿下には來る十四日安東驛御通過露都へ向はせらるゝ御豫定に就き七日午前九時より安東警察署に井上守備隊長古藤署長山路驛長横田滿鐵地方主任堀內民團理事牛島保線主任及び憲兵分隊長代理の諸氏會合の奉迎送に關する打合せを爲したるが其結果

天安

▲溫泉里間道路不通 本月三日より大降雨にて天安溫泉里間の道路は處々破損し險惡となり居りしが終に五日夜蓬江川出水激增し蓬江橋西側八十間許り破潰し人馬車の交通杜絶せり尚溫泉里橋も流失せり▲農作狀況 天安郡は一般に旱魃地なるが爲め毎年植付出來ざる畓多かりしが本年は植付當時より降雨多く爲めに山間の畑地の如きに至る迄皆稻の植付を爲し續いて好順なる故に本年豫想收穫は例年より四割以上の增收なりとて農家は大に活氣付居れり

元山

▲元山市況 元山客月中に於ける市況は南洋方面に新方の需要旺盛なると原綿の暴騰に依り元山相場も物により一定一圓七八十錢高を唱へたりと雖も恰も盆前となると與地方は漸次冬物の仕入期に入りたるを以て實行極めて好況なりし米其他雜穀類は定期の昂騰に伴ひ之れが上向き一方の相場を持續し來る月末に至りて幾分期米相場の弱腰するに連れ正米も二三十錢方の下押を示せり然れ共二百十日厄日前後の事とて今暫くは天候の如何に依り急變を來すやも計り難し此外一般商況は殆ど前月と大差なかりしものゝ如し▲元山と屠牛場 元山には目下私營と府營二箇所の屠牛場ありと雖も極めて小規模なるを以て內鮮人口二萬數千を包容し從て年々多くの屠殺數を算しつゝある大市街としては頗る不完全なるものあり故に既報の如く元山府にては前記屠牛場の內小田村廣助氏の經營に係る屠牛場私營期間經過後は現在府營のものをも廢し以て元山里尋常小學校附近に完全なる一大屠牛場を新設すべき計畫にて過般久保技術員を仁川及び大邱に派遣し委しく兩地屠牛場の狀況を視察せしめたる上更に舞鶴廣島の地に於ける屠牛場の設備を參考とし愈々之れが設計に著手の筈なりと▲久我鮮銀支店長 既報の如く朝鮮銀行元山支店長武川氏の後任久我清氏は六日夕鐵路來任愛媛館に投宿中七日より直に事務の引繼に著手せり

大田

▲官舍工事 歩兵第七十九聯隊將校官舍は既に竣成すべき筈なりしに降雨の爲め支障を生じ漸く外廓は竣成したるを以て昨今內部の造作中なれば本月中には竣成の筈なりと▲佐川氏辭職 大田學校組合出納役佐川良知氏は家事の都合に依り去る四日辭表を出し一家を纒め七日零時三十分發列車にて郷里山口縣に引上げたるが有志の見送り盛んなりき▲就業開期 當地公立普通學校にて木工科を生徒に課する事となり兼て夏期休業中寄宿舍の竣成と共に其一部を教場に當て就業開始の筈なりしに降雨其他人夫の都合にて未だ竣成に至らざるも本月中旬頃よりは開始すべく目下準備中なれば遲くも二十日頃には開始の運に至るべし▲大神宮祭典 當地大神宮は來る十九、廿日の兩日秋季大祭を執行する筈にて學生の擊劍柔道等の奉納ある筈▲久次米技師 勸業模範場纛島支場長の同氏は六月來田七日午後一時の列車にて湖南線に入れり

群山

▲豪雨沛然 南鮮各地方と等しく群山附近一帶も去る三日以來七日朝に至る迄豪雨斷續し鐵路の破壞丘陵の崩壞せる箇所鮮なからず畓の如きも稻を沒するまでに浸水せるものも尠なからざりしが未だ其の正確なる被害程度を知る能はずと雖も六月中の豪雨の如く連續せず降雨に間斷ありしが爲めに比較的減水速かにして畓の浸水久しからざりしが故に水稻に及ぼせる被害は輕微なるものゝ如く觀測せらる因に最近群山地方に於ける降雨量は去月三十日より翌三十一日に亙り百零六ミリー本月三日朝より七日朝に亙り二百八ミリー七たりしと▲商議書記長 群山商業會議所に於ては役員の選擧決定を見ると共に書記長の人選中なりしが十八銀行群山支店長北川元助氏の推薦に依り豫て彼驗の聞ゑある元山商業會議所書記長たりし石井彥三氏に決定し來る二十日著任の由

木浦

▲八月木浦驛 八月中營業成績を聞くに乘客三千六百五十三人降客三千五百十四人計七千百六十七人にして前月に比すれば七百八十九人を增加し貨物發送八百十三噸到著六百三十三噸にして之を前月に比するに發送に於て三百七十六噸到著二百七十三噸何れも增加し小手荷物は發送九千三百六十七斤到著一萬四千七百七十一斤を示したり尚收入は客車四千五百十四圓貨車二千三百九十圓合計六千九百〇四圓にして前月に比し客車收入六百七圓を增し貨車收入は六百〇四圓を減じたるも差引七十五圓を增加したりと▲棄錢引換 當鮮銀支店の八月中に於ける引換高は九百六十七圓五十三錢二厘にして七月に比し六百八十六圓六十一錢の減少なるが右は天候の關係等より廻著不能なりし爲めなりと▲女學校設立 其後女學校設立に就ては既報せるが尚組合員に於て此際是非設立を喝望し商根松井谷垣中田長野の諸氏は有志を代表し府尹を訪問し希望を具陳せり▲教育會總會 木浦教育會にては十日總會を開き既報の如く役員の改選を行ふ由▲大橋新太郎氏來木 東京商業會議所副會頭大橋新太郎氏は五日午後四時列車にて來木市中を視察し六日正午發列車にて歸東▲堤檢査役來木 朝鮮銀行檢査役堤嘉三氏は當支店檢査の爲め五日歸木▲視察員出發 露領方面視察員當會議所評議員桂山淺之丞氏は四日夜來木せり▲山野專務歸木 木浦商業會議所專務の同氏は上阪中の處五日出發せり因に同氏は元山に於て釜山一行に合する筈

大邱

▲大地主農事講習會 慶北道にては一昨年來毎年管内各郡より大地主一名宛を召集し道種苗場に於て農事改良に關する講話をなし來りしが本年は九月廿五日より二日間開催の由▲淺井郡書記轉任 淺井慶北金泉郡書記は今回鬱陵島書記に任ぜられ十三日赴任の筈にて金泉有志は八日送別會を開けり▲金泉管理者辭任 慶北金泉學校組合管理者倉成熊助氏は家事の都合により管理者を辭し坂口郡書記臨時管理者を命ぜられ學校組合は八日より七日間組合議員名簿縱覽をなしつゝあり▲輸移出品鑑定價格變更 釜山稅關大邱出張所にては輸移出品の通關價格を左の通り變更し本月十六日より實施の筈▲大豆(石)上七圓三四、中七、三一四、△小豆上一〇、二七四…

人事消息

▲佐渡秀光氏(朝鮮皮革會社專務) 七日夜內地より歸任
▲永野清氏(慶尙北道警務部長) 同上
▲呼子友一郎氏(忠淸南道警務部長) 同上
▲高橋亨氏(大邱高等普通學校長) 六日入京
▲タフトレール氏(京城鑛路領事) 八日朝發佐賀へ
▲辰市祐護士 八日夜南大門發東上月末歸京の筈
▲廣江澤次郎氏 七日朝南大門發奉天大連方面へ
▲金森健次郎氏(官吏) 八日朝退京

朝鮮を後に
六日門司にて 合水

□官邸出發
出る門の松葉牡丹凋む
□龍山停車場
停車場に行く將軍の瓜名殘
□永登浦にて蜻蛉將軍と別る
未だ殘暑お大事になされませ
□釜山出帆
別れの握手電扇鳴るのみ
□器械砂損の爲め錨の上らざる事三時間
歸燕降る棧橋と綠切る
仲々に錨上らぬ秋の暮
□門司碇泊
碇泊の港煤烟の秋暑し

參議院傍觀記(二)
傍聽席 新婦人團 蒙古の議員
國務員信任投票の日

於北京 神崎憲一

今日は參議院で國務員承認投票がある日だ。N氏の案內で俥を驅る十四日午後二時半。參議院は元の施政院の跡で衆議院に隣りしてゐる。位は北京內城內の西端。老槐の茂み翁鬱たる間に大五彩旗を交叉した正門あり門前には二十餘名の兵士巡警左右に居並び門前には自動車、馬車、俥道を埋めて捨てられてゐる。票を示して入れば正面內玄關にも

大五彩旗交叉され

庭樹と相映じてゐるが傍聽人は左手の別の入口から入る樣に巡警が佇立してゐて指示してくれる。入口で帽子、ステツキ等を取られ右手の狹い階段を登ると其處は既に傍聽席だ。『傍聽席』とした小さな木札が掛けられ議長席と正面した處には『外賓席』としてある。既に一杯に詰め掛けた傍聽席に割込むと附近には內外のレポータースが顏を並べてゐる。後で紹介された人もあるのだが毎日の楢崎、朝日の神田、時事の小川、報知の渡邊諸氏は先づ北京に於ける

日本新聞の代表者

だ。見ればすぐ前に華やかなボンネツトを被つた外國婦人、其隣りには髮を飛び切りのハイカラに結んで空色のリボンで束ねた支那婦人がゐる其少し先の方には二十人餘りの支那婦人が團隊を組んで來てる。何れは中華民國の婦人界を背負つて立つ新しい女の群れなのだらう。何にしても傍聽席には人が鮨詰めである、下瞰すればもの丶六七十坪もあらうかと思はれる程の大會議席の

中央正面一段高く

奥まつた處に、大五彩旗の交叉を脊にして議長王家襄氏控へ左右には副議長王正廷氏其他書記官らしい連中が居並び、其すぐ下の段には中央に演壇がある。其又下段には速記者が居並び、速記者と同段の左右に國務員席がしつらへられてゐる。議席は圓形を爲して演壇を中心として向つてゐる。至極簡單素朴、見やうによつては寧み神田の青年會館以下だ。僕等の席に就いた時には既に投票は終つてゐた演壇の左右に議長指名の

投票監査委員八名

が議員から集めた投票を頻りに整理してゐる處だつた。其れが可成りに時間をとつた。國務員の席はがら空きで只名も無き官吏が二人結果や如何にと中央に注目してゐる。『國務員席は流石に一人も居ないなア。』成程此投票の結果で定まる譯だから夫れ迄は總長陣も國務員席に就く事が出來ないのではある。』と誰かが側で囁く。とすぐ側から

『なあに今迄段其瑞が來てたんだよ投票が濟むと出て行つてしまつたんだ。』と聽ずる。全く段其瑞の

信任が決するんだ

からナア。若しもの事を思へば凝と見てる譯には行くまいて』と茶を入れる人がある。『怎だらう一體? 程璧光は怪しいだらうか?』と待つ間のつれ〲に豫想下馬評をやる連中も出て來る。『張夫、張耀曾や谷鍾秀は大丈夫だらうなア。』其言葉の裏には何處となく南方に同情ある意嚮が閃めく。

衆議院での投票に

よれば財政總長張耀曾と農商總長谷鍾秀とが最少得點であつた。二人共南方派なのだ。隨て同情者にとつては非常に氣遣はれる譯なのである。處が衆議院の投票があつてから參議院の投票のある日迄に二三日間があつた。其間の經過によれば右兩人は別に危くないが怎うも北方派の程海軍總長が六ツかしい相だと傳へられた。誰もそう思つてゐたらしい『先づ大體に於ていゝだらうと思ふが怎かすれば程璧光が怪しい』と支那通も支那不通も語つた。其れが

今一時間の後には

判明しやうと云ふものだから自然傍聽席も溢れざるを得ない譯だ。溢れた傍聽者は片唾を呑まざるを得ない譯なのだ

驅て投票監査委員の投票整理は出來た其の內の一人は中央に立つて整理した。投票を讀み始めた。——記し遅れたが中央演壇の正面(議席に向つた方)には其面一杯の白紙を貼りつけてある、議員は其の名の順に依つて同意不同意を用紙に記載(無記名)する事に成つてるのだ——

委員は聲高らかに

一枚々々呼び上げる。

『唐紹儀—同意。陳錦濤—同意、程璧光—不同意。……』

其聲が伸々よく徹る。正面と左右の階上にある傍聽席にも非常によく聞こゑる。其れを速記者は手早く記し止めてゐるのだ。議員は机に新聞を擴げてるのがある。手提鞄を置いた儘議席にゐないのもある。怎麼のは

ウイスキー飮みか

小便しに行つてるのだらう。

『右の方の席のね。彼方から五番目の左から二人目に辮髮をさげてるのがゐるでせう。見ゐますか?』とNさんが囁く。見ると成程夫れらしいのがゐる。

『彼れはね內蒙古から來てる議員ですよ。異彩を放つてるでせう?』成程其麼事が新聞にあつた樣だつた(つゞく)

車上の秋山將軍(向て左)

朝鮮學を修むるぢや
列車中の秋山新軍司令官
『皆馬を飼うことにせんといかん』

櫛風沐雨、幾戰場を來往せし名殘りを留めた嚴めしい老顏に爛々たる眼を光らしつゝ、新駐鮮軍司令官秋山好古將軍は八日早朝途中迄出迎へた記者を引いて語る

嚴しい其の顏に似ず笑顏と聲と態度は仲々に優しい曰く『滿洲や支那には可なり永く駐まつたが朝鮮はいつも通過許りで鐵道沿線主要地以外內陸方面は毫も知らない、コレから大に各地を巡視して朝鮮學を修むるぢや』將軍の胸には

＝勳一等の副章と＝

功二級の金鵄勳章天保錢の大學出身章其の他が一杯に光つてゐる『朝鮮には馬が見へぬ、小さい驢馬許りとは情けない、ナニ耕作には牛を使ふ、馬で耕せば早くて捗が行くぢやらう、第一軍馬などを一々內地から取り寄せる樣では不可ん、在鮮內地人農民からでも馬を飼ふ事にせんと……』流石に騎兵科の出身だけ將軍の話しは馬に始まつた『龍山も當師團が定まつてから景氣がよくなるぢやらう/\、何分軍隊が始終交代しとつちや人民の腰もフラツク、軍隊の尻が落ち著くと地方民も堵に安んじて精を出し

＝其の土地も好く＝

なる、將校官舍は大方出來たぢやらうか、うん、すると將校も家族を大抵呼ぶやうにならう、さうせんと不可ん、朝鮮師團常設などはモツト早くやればよかつたんぢや』窓外の風物に目を遣りつゝ『朝鮮を通る毎に朝鮮はよくなる、質實にジワジワ進む所がよい、山も追々青くなる、然しコレ(沿岸の禿山を指しつゝ)を見ると未だ木を植へたらよささうに思へるがね、全然山を遊ばせて置くやうなものでないか但し平地は

＝よく耕やされて＝

ゐる、稻作なども今年は仲々よい、內地と殆んど異らぬ朝鮮米が粘りが多くて仲々旨いね……』などと捌けた話しもある『朝鮮も最近平靜で結構だ吾輩の朝鮮觀は一應管內を巡視し終つてからの事にせう、一巡と云つても內地の半分位ゐの面積があり、それに北部は交通不便加ふるに多數の守備隊を有してるやうだから十日や二十日では廻り切れまい』

＝永登浦に近く＝

將軍は野津副官を呼んで『今日は怎うするんぢや』と聞く『官邸まで馬車で行きますぐ上長官以上の伺候式があります』と副官が答へる『馬車で? 道程が遠いか、歩かう、歩いて行つてよい、尤もこれまではどうだ』將軍が云ふ『堵列兵もゐますし儀仗騎兵の先驅もありますからそれに何日も馬車です』『ぢや馬車でもよからう』永登浦で佐渡皮革會社技師長其他乘込む。將軍は支那牛皮の事などを云ふ『何と云つても支那は大きい、與が廣い、どんな品でも數量もすぐ纏まり相場の高低も少ない』將軍が漢江の增水を見下してゐる時副官がすぐ龍山に著車の旨を報らせた

秋山軍司令官を迎ふる
劍光帽影
四方見臺下殷々たる十九發の禮砲

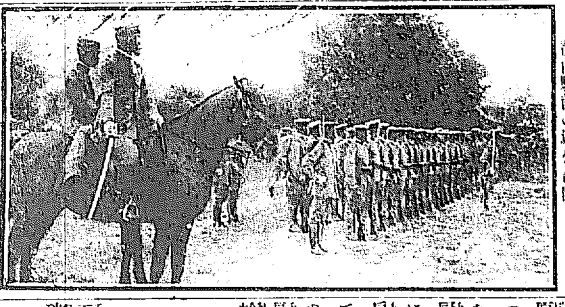
八日の朝龍山停車場のプラツトホームは劍光帽影並にフロツクの人々で埋まつた、コレ新に朝鮮駐劄軍司令官の

▲**印綬を帶びた** 秋山好古將軍の公式入城を迎へんとする在京龍文武官民間有志の主な人々である、流石に一團の中でも山縣素空總監と野田大塊副總裁は昔から上部丈け群を拔いてゐた、そこでも此處でも色んな話しがはづむ、午前八時四十五分北行列車が

▲**初秋の朝霧を** 衝ゐて龍山驛構內に入つた、一團の人々が捺ぐと容貌魁偉風骨堂々の秋山將軍は多くの勳章を胸狹く吊し出迎の幕僚を隨へ悠々車室を下りて來る、此の百戰經來つて老將軍は直ちに莞爾と笑みつゝ山縣總監と堅い握手を交し、續いて立花古海兩中將、野田副總裁宇佐見大屋兩長官

▲**其他と會釋を** 交すそれから三本理事其他鐵道や軍の人々の先導で將軍は軍師團憲兵隊將校の二列に並べる前を通つて敬禮を受け跨線橋を超ゐ貴賓室に入つたが此室で出迎ひの主な人々と簡單な挨拶を交す落車當時より龍山砲兵中隊は

▲**十九發の禮砲** を軍司令部後丘で殷々と放つ、午前九時司令官は野津副官と馬車に同乘中村騎兵大尉の率ゆる儀仗兵一個小隊に先驅後衞され小柳少佐指揮の下に堵列せし第一大隊並に朝鮮步兵隊の前を通過し順路を軍司令官官邸に向ひ立花師團長白水參謀長の馬車も後に續いたが好將軍の著任を觀んとする人々の群れや車馬の來往で龍山驛前の廣場は珍らしい賑はしさであつた



龍山驛前の堵列部隊

五連絡船の廚長解雇

關釜連絡船新羅丸、高麗丸、櫻丸、壹岐丸、對馬丸各船乘組廚長五名は何れも五日同時に解雇の辭令を交附せらるゝに至りたるが五船の連絡船司廚長が全部一時に解雇せられたる原因に就て樣々と揣摩臆測を逞しつゝあれどこは世間の想像するが如きさしたる大事件に非ずして各船司廚長が連絡船接待用名義の下に勝手に納入品の轉換を行ひ又納入商人が口錢と稱し月々十五圓宛をせしめて私腹を肥し居たる事發覺したるものにして斯くの如きはホテルの司廚長及び他の商船又は歐洲航路汽船に於ては殆ど公然の秘密とせる事なり(門司)

辯護料 六萬圓

天理教事件辯護料は法曹界の記錄を破り六萬圓なりと(大阪特電)

東京灣で 汽船坐礁

デンマーク汽船アラビン號は七日東京灣に於て坐礁せり(東京電報)

君が代丸 異狀無し

七日午前仁川に入港せる汽船君が代丸は大阪を出發し各地に寄港して入港したる者なるが同船は途中釜山に於て一應檢便或は消毒を受けたるを以て仁川にては港務醫官出張し食品檢查をなせしも何等の異狀を認めざれば夫々手續きを了りて上陸客十三名(內邦人十一名、鮮人一名、支那人一名)は目的地へ出發したり(仁川)

水が出た
漢江の增水二十一尺

鷺江の增水二十三尺——馬山線の堤防決潰——家屋百戶倒壞——鷺梁江沿岸收穫後の見込み無し

昨今の豪雨にて京城附近にては漢江の增水七日午前八時四十分龍山元町四丁目下にて二十一尺五寸なりしが八日午前八時三十分には二十一尺三寸を示し是が爲め麻浦洞の浸水家屋十五戶あり忠北忠州方面は四日來

◆**交通杜絶** の所各河川は漸次減水し七日より何れも渡船を開始せり忠南錦江は七日午後一時二十三尺八寸に增水せり慶南馬山線昌原進永間は六日來汽車不通なりしが七日午後三時より開通するに至れり金海附近は堤防決潰し城內家屋の床上浸水したるもの少からず三千浦附近は各所の氾濫に依り家屋浸水せるもの

◆**百戶倒壞** したるもの五戶壓死又は溺死したる朝鮮人三名あり而して中江の增水十四尺に達したり釜山電鐵線路破損の爲め東萊間との運轉中止せるが附近なる河東郡方面は嶋津江增水し浸水したる水田二百町步に及び稻の收穫見込なし釜山鎭龜浦間は七日午前八時三十五分開通せり全北にて

◆**萬頃江增水** と共に家屋流失したるもの七、倒壞したるもの五及び豚死或は溺死したる朝鮮人七名を出せり又湖南線鶴橋三郷間は七日午後七時四十五分開通せり

多額納稅者の 妻海に投身す

愛知縣多額納稅者中埜又左衞門長男幸造妻ツネ子(二三)は海中に投じて死せり之には入り込みたる事情あるべしと(大阪特電)

虎列拉發生船

取扱ひにかゝる汽船銀山丸は先日大阪を發し肥前唐津に向ふ途中乘客一名虎列拉病に罹り更に同港著後他に一名同病に犯されたる由なるが右銀山丸は唐津より直航して八日仁川入港の豫定に付仁川警察署にては場合によりては同船に對し一定期間の繫留を命じて大消毒を施し乘客は檢疫所の一部に隔離する筈

在鄕軍人講話會

京城在鄕軍人會の定期講話會は十一日開催の筈のところ惡疫流行の際とて見合はすことゝなれり

龍山野球仕合

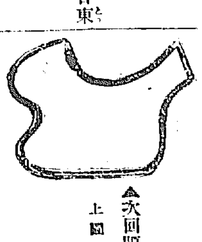
九日午後六時より龍山鐵道グラウンドにて鐵道對倭城俱樂部の野球仕合あり

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▽欲め給

○猿(一等) 京城御成町 茂川

▲佳作 釜山小野小町、京城稔山里三、大川花田生、龍山田山玉川、京城鮮紅、同西村、平壤波島生、沙里院駐坊、京城田中生



▲次回題 上圖の通り

■課題及び募集規定は欄外にあり

管絃大家の入京

現代尺八界の權威たる琴古流川瀨順輔師は附隨の創作者にして卓絕せる妙技は世に定評あり中興の祖荒木竹翁師の係業を承繼して流儀を固め當代古流の師を擧げ他念なし地唄三絃にありて美聲の稱ある里子夫人を同伴し斯道奬勵の爲め滿鮮各地巡遊の歸途八日午後七時三十分南大門著入京したり近く京城に於て同師一行の歡迎演奏會あ

◎正誤 七日夕刊二面所載『元大邱協成學校教員強盜となる』は『強盜を隱匿す』の誤につき訂正す

連絡船上陸客 六日午後入港對馬丸より上陸客

■募集規程 ▲用紙は端書又は同樣の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲贈賞は……

天氣 曇り ▲九月九日

演藝案內

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛凸版 京城日報社寫眞製版部

大正館 本町 電話八七三 日本活動株式會社朝鮮代理店

有樂館 本町一丁目 電話二六六

黃金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下)
黃金館に來れ……見よ 外觀を飾らず誇張的廣告をせず觀客を購著せ內容の充實せるは毎夜滿員の大入りを續けつゝある
教訓孝の德 琵琶劇 第九「名金」 大冒險大活劇 佐倉義民傳 連鎖劇 宗吾內の場

御成座 御成町 電話一九一

浪花館 明治町 電話二六〇
大阪女義太夫一座來る

大正館の 大好評連續滿員 戰禍 祖國の興廢此一擧に在り國民覺醒の大寫眞

尺八樂譜解說 尺八樂譜 東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂堂

期米 曾我商店

直治水 目藥 トラホーム其他眼病諸症に特效あり 本舖 大阪 東京 丹平商會

京城龍山元町二丁目 杉本齒科醫院 齒科醫學士 杉本蔚

飄水味淋 堺 鳥井釀

專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

七日午前入港さくら丸二等客 [illegible] アンダーソン、コーブールの十九名 一等（十一名）志賀信光、同直子、同信秀、同 [illegible] 大原 [illegible] 村ふみ、藤田光太郎、草場京三郎、吁子友一郎、同きよ、同和子、中田 [illegible] 同俊子、同勝一 [illegible]

七日午前入港御用船第三拳平丸より [illegible] 同俊子、同まつの廿名

一十八日松入港釜山丸二等 [illegible] 一等（五名）[illegible] 二等（十四名）[illegible]

防疫は個人衛生が基礎だ

虎列拉菌は水から擴がる

市民は飲食物に注意せよ

朝鮮は釜山に於て開港檢疫を行ひ虎列拉流行地より來る旅客に對しては嚴密なる檢診を行つて此の一方口に於て虎列拉の侵入を喰ひ止めやうと努めて居るが一方内地に於ける虎列拉は長崎縣長崎市、對馬、熊本縣天草と云ふやうな容易に

◇漁船帆船の交通し得べき個所に於て可成り猖獗を呈して居る殊に表玄關の釜山から朝鮮内地に這入るには此等流行指定地區から來ると停留檢疫を受けなければならぬから其の煩を避けんが爲めに窃かに漁船帆船等に乘じて渡鮮する者なきを保せられず朝鮮沿岸一帶は何時虎列拉の襲來を受けんも圖り難し

◇頗る危險を感じ居る矢先き突然六日午前京釜線列車内に疑似虎列拉患者發生したるは [illegible] 次第であるしかし幸にも檢鏡の結果陰性であつたのは僅かに安心するを得た次第であるが今回の患者は流行地として指定されたる區域以外の岡山より乘車したるもの故釜山開港檢疫所の停留を受けず京釜線に乘り込みたる列車が大邱驛に着きたる頃は既に頗る重態に陷つてゐたもしこれが假に眞性の患者であつたら實に恐るべき結果を來したらうと思はれる何故なれば患者は連絡船は元より釜山停車場に休憩中に

◇虎列拉菌を排泄したであらうと想像せられる殊に最も危險を感ずるは患者が列車の便所より沿線の路々に汚物を排泄する時の虎列拉菌の傳播である元來列車の便所より排泄する穢物は列車の進行と共に夥しき飛沫となりて四方に飛び散るものであるから沿道の危險は一層甚だしいものである殊に五日より六日にかけて降つたやうな降雨の際は更に病毒の傳播を助けるものである

◇天氣快晴であれば排泄された病毒は折り惡しく水中へ落ちても猶なければ大抵日光の爲めに死滅して終ふが斯の如き雨天の時に高い線路へ病毒を撒き散らすとすれば此の病毒が意外に擴がると云ふ事を想像しなければならぬ殊に釜山大邱間は洛東江に添へる水郷多く又林檎其他の果實及び西瓜、眞瓜等の生産地なるだけ病毒をして比較的容易に人體内に運び入るゝ機會が甚だ多くある、コレラ患者の排泄したものを

◇檢微鏡にかけて見ると鏡下に映ずる面積はほんの針の頭で押した程の微細なる部分であるがそれだけの處でも虎列拉菌は無數に居るのである故に例令へば普通一滴の患者の排泄物を水に泛べると其の内の半分はいろ／＼の關係上自然に死滅してもそれでも猶一寸した池位には一面に病菌が泛び漂ふ事となるからもし釜山から大邱までの間に七八回も患者が便所から線路に吐瀉し下痢して其れを雨水が

◇附近に流すものとすれば隨分澤山な病菌が沿線に撒布される事となるからその病毒散布地から來る魚類は元より果實、野菜等に就ては充分に要心をしなければならぬ要するに昨今の如き折柄には各個人が衞生に留意し生物や生水は一切飲食せぬことにし胃腸に異常を感じたら直ちに醫師の手當を乞ふことゝし取返しのつかぬやうな大事に至らぬやう心掛けねばならぬ警察官憲でもいろ／＼防疫には注意してゐるがそれよりも防疫の根本は個人の衞生を重んずるにあるのだから市民はその心掛で注意して貰ひたい（警務總監部瀬川技師談）

私の家は盆栽の病院です

「寄植ゑや芭蕉の鉢などがむつかしい」

◇金銀細工の生島一光氏の家は、明治町フランス教會堂の下にある◇雀や小鳥を飼つた住家からは、また風流な趣に富つた庭が見ゐて、庭には棚一ぽいの盆栽がある◇「私は二十四五年間盆栽を扱つて居ますが、この樂みもなか／＼趣味のある道樂です」と、主人はソロ／＼縁の眞柏を、ならべ出す◇余が「立派なものですな」と感嘆するや否や、主人は片唾をのんで膝を乘り出し「此の眞柏など [illegible] 先づ三四百圓の代物です [illegible] 花を落けて實を結ぶものと、花だけ咲いてあとが黒くなるのと、二種類ありまするが、此の臘梅は實のなる方です◇それに、此の植木は [illegible] 素人には [illegible] 裏側に出すのが普通で、あの左に頸れた古幹の趣きと、雨打風捷の靴味は實に何とも云へませぬ―◇それから此のいちひや杜松や [illegible] などを御覽下さい、また此の楓のよせうゑはなか／＼むづかしいもので、先づよせうゑの出來る人は一人前の盆栽家と云はれませう◇次ぎに此の芭蕉などは盆栽としては容易なやうで難かしいものです◇これは屋市さんから直して呉れと頼まれましたが私の家は先づ仲間の盆栽の病院のやうになつて居ります

△會のいろ／＼▽

□安藤夫人招待會 近回鐵道局より朝鮮部に轉じたる安藤氏夫人の爲め七日午後倭城俱樂部にて茶話會開催、總督府官舍側の各夫人出席盛會なりき

□筑前琵琶松翠會 九日午後七時より仁川山手町基督教青年會館にて第五回松翠會開催 ▲君が代（中川）▲備後三郎（松谷）▲村上喜劔（菅）▲渦水瀬（田島）▲扇の的（中村）▲義士の本懐（眞田）▲蓬萊山合奏（田島、中村）▲慶良親王

□同志社同窓會 七日夜南大門通基督教青年會にて茶話會を催ふせり

□學用品研究會 八日午後一時より南大門小學校内にて開催同校職員一同の生徒學用品に關する研究あり後ち八阪訓導の東京に於ける講習會の報告ありたり

□性相學講演 九日午後一時より倭城俱樂部にて開催、隈本氏の講演あり

□基督教演說會 九日午後八時より南大門通教會にて開催、今回各派協同傳道の爲め入京せる沢原、宮崎、並居、釘宮、堀無氏の演說あり、

□一基督教聯合婦人會 十一日（月曜日）午前十時より長谷川町日本基督教會にて開催、東北學院教授 [illegible] 榮太郎氏の徹底せる教育及び江原素六氏の講演あり

□内鮮基督教親睦會 九日（土曜日）午後二時より南大門通ファミリー、ホテルに於て開催

神社とお寺と教會

○龍山日本基督教會（漢江通） 八日午後八時より基督教各派協同傳道開催鍼無、宮崎兩牧師の說教あり

○東願本寺（南山町） 九日午後八時より土曜講話あり

○龍山西本願寺（元町二） 九日午後八時より土曜講演あり

○龍國寺（旭町三） 八日午後八時より鬼子母神の說教あり

◎家庭料理研究會 曩て本紙の報ずる所その日々に熱誠しつゝある本町二丁目ロシヤ物産商會青木はつ子女史は本日より更に家庭料理研究會の新講習會を開き每週火曜日金曜日の兩日を以て教授すべしと

番茶のあと

明治町フランス教會堂の神父は曾て大院君の虐殺を免れてから今年で五十年になると語つて居た相な▲當時の殉教者はみな西大門外の刑場に當韓國軍隊の刄の露と消ねたのであるが何れも從容として死に就き誰れ一人として惡びれた風を爲すものもなかつた相な△神父はその時朝鮮の婦人に化けて溫突に隱れて居たが鼻の高いのと丈の高いのとそれに犬が吠わつくのに大弱りだつたといふ△頃日は支那領事館のポプラの葉がハラ／＼と風に散り出した

商況

東京株式特電

（三十日前場寄付）大引

日本郵船 京城電氣 滿鐵 [illegible] 東株 東新 東株第一 東新第二 諸株券騰す

東京債券現物特電（前日との比較）

二日出來値段（前日との比較） 東拓 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮瓦斯 南滿鐵道

東京公債直取引特電

八日出來値段（前日との比較） 五分利 五分特別 四分利 一回 二回 甲號五分 九七、〇〇

深川在米特電

八日現在高 鮮米 外米 內地米 三三、七九九 六、七七九 一、五八六、一三〇八

東京期米特電

八日前場 寄付 高値 安値 止め 一月限 後場

大阪期米特電

八日前場 寄付 高値 安値 止め

下關期米特電

八日前場 當限寄付 中限寄付 先限寄付 一四、六六 一五、〇七 一五、二四 止め

雜報

寄付 高値 安値 止め 當限 中限 先限

牛皮更に昂騰

事情 注文も未だ契約條件の配目に付交渉中なるが大體の引受けは既に内定せるもの如く當局よりは夫々製品に著手すべし [illegible]

正味の七十五圓

或は半減

皮價の前途

悲觀の要なし

大阪相場の八十三圓

正米の弱氣觀

內心大に手放し急

小口賣米續々

局無事に經過

端境季

出に付種々の噂

露國軍需米の輸

藥品類は强合也

幾分の高値

宗谷昆布ヂリ安

錢と氣弱

七圓五六十

仁川米豆取引所仲買人 日 仲買店 支配人 土居 電二八二番 二八三番

下關相場

京城正米

△朝鮮一等白米（塊口）十五圓四十錢 △同（當用）十五圓五十錢 △同二等白米（當用）十五圓六十錢 △同 十五圓二十錢 △同 十五圓三十錢

仁川現物市場

△惡天候不良にて入津なし

釜山市場 七日

△正米同斷 △小麥同斷

合計一千四百六十二個 中白 五十九個 玄米 一千二百七十五個 新大豆 八十一個 玄粉 四十七個

一般期米賣買の委託御申込を歡迎す 田中金次郎 電話二六二八番 一五二番

仁川期米

八日前場

大阪天候曇天

一錢安の入電

前同時の移り

六節十五圓丁度

瓦落を移し

市場零聞

遂に崩落す

大阪の瓦落に連れ依然賣氣旺盛

前場の手振

遂に暴落

大に賣買す

仁川米豆取引所仲買人 利 仲買店 電話長九〇五 電信略號 送呈

大に賣る

能く賣る

大に買ふ

仁川米豆取引所

八日の十一月限

前場	
寄付	十二圓七十錢
止め	十二圓五十八錢
高値	十二圓七十錢
安値	十二圓五十五錢
出來高	六萬六千三百五十石

平均値段	
一節	十二圓六十九錢
二節	十二圓六十九錢
三節	十二圓六十七錢
四節	十二圓六十六錢
五節	十二圓六十七錢

北濱だより

株式合併運動

大に買ふ

邑の賣買

今節買ふ

市場殷賑

暴風警報

今仁川測候所より發したる新報は風雨强かるべし警戒區域京畿道忠淸南道全羅南道の沿岸及び內陸とありたり

厄日無難

白露

兵庫は晴天

保合下放れ乎

値

如何に賣人氣の熾烈なる窺知するに足る

尙ほ一段の下

一週間以內に購讀豫約申込者には五十錢書籍券を呈す（但し何號と明記に限る）

別莊賣却 仁川柳町 約六千坪 土地高燥 眺望佳絕 建物和洋折衷三構外に果樹二千本 仁川山手町二丁目 エ、エ、ウ ー

報

測候所 前日中最高溫度 [illegible] 最低溫度 [illegible]

内科 小兒科 入院隨意 京城明治町（元善隣學校隣） 中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

改築落成

謹告

各位樣益御機嫌宜敷大慶至極に奉存候陳者浪花館義中休を利用し衞生を重んじ館の內外を改築致し目下落成仕候に就而者改築祝として今回內地より特に女義界の泰斗たる竹本林之助の大一座を迎へ御旦那樣方の御聽きに供し度來る九月 日より花々敷開演仕候間倍舊御引立あらんことを奉希上候 敬白

明治町 浪花館

大阪女義太夫大一座 太夫 竹本林之助 大阪因社の總取締 三味線 豐竹東馬鶴 外美人連十五名出演

當る九月 日より開演

大日本陰陽學會朝鮮支部新設

會長 吉田學明師

先般來當地原金旅館に滯在し一般の鑑定需に應し候處鑑定希望者多數の爲左記に支部を設け從前通り鑑定需應に付（鑑定料 觀相五十錢 當用易斷一圓）

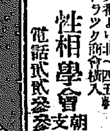
京城本町通り三丁目 大日本陰陽會朝鮮支部執事敬白

宇治茶直接販賣

喫茶の好時季 家庭の御常用と來客の御接待に無くて叶はぬは眞味の宇治茶に候秋風一過喫茶の最好時季に向ひ香味優良なる弊園自製の新茶多々御用命を乞ふ

御茶銘錄定價表（二百目ニ付） ◎玉露製 ◎煎茶製 ◎折物製

製造本店 山城宇治乙晒久世 營業所 京都七條東洞院角 製茶問屋 井上六平



京城永樂町二丁目 交番より北へ四五軒ドラツク商會横入 性相學會朝鮮支部 電話貳貳參參番

高山校長 九月七日午前十一時逝去せられ候に付此段卒業生諸君に告ぐ 大正五年九月八日 仁川公立商業學校

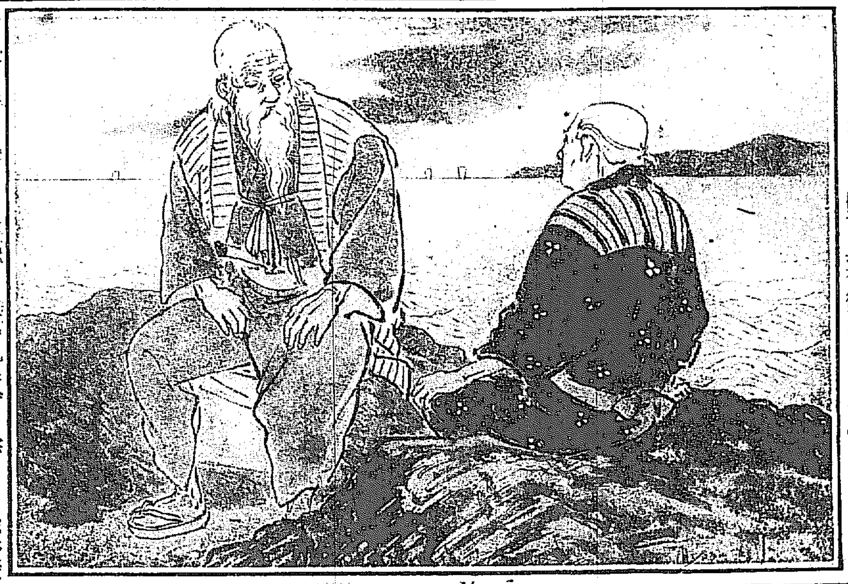
高山經慶儀病氣の處遂に九月七日午前十一時死去仕候に付此段生前辱知諸君に謹告仕候 追て葬儀は來る九月九日午後四時途中葬列を廢し仁川寺町妙覺寺に於て施行仕候 大正五年九月八日

男 高山豐 親戚總代 中村經滿 山口九一郞 友人總代 有賀光豐 本宿家全 和田英正 伊藤最一

宮本武藏

第百五十三回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記



件の老翁が大海紅色に變じたるを見て我を忘れて打喜こぶ様子、萱塚忠右衛門不思議と思ひましたからツカ〳〵と老人の傍へ進んで 忠『少々物を伺ひたうござる』振返つた老人が 老『アヽ何だな』忠『餘の儀でもござらんが今忽ちにして大海紅に變じ東西の天は燒ける如き色を顯し、目前の奇瑞何とも不審と存じたる所に、貴公欣然として横手を拍ち、時至れりさあつて喜ばるゝ様子、拙者更に其意を得ず、願はくば其理由を詳らかに仰聞け下さろやう』此時老人莞爾として 老『能くお尋ねなされた、如何にも其仔細をお話し申さう併し先づ其許の御姓名を承知いたしたい』忠『申遲れました、拙者は元小西攝津守に仕へし萱塚忠右衛門と申すもの、慶元兩度の合戰には祖父にて候ふ布施屋飛彈守と共に大阪の城に立籠り、落城の後は舍弟忠太夫倖左門と共に一度播州三日月に逃れ、三年前より天草に移り住んで、生活のなきまゝ漁業を渡世といたし居りまするもの 老『ハヽア音に聞へし布施屋飛彈守の孫萱塚忠右衛門とは其許か、イヤ之れは什麼も大した英雄に出會つた、貴名は豫々承はつて居る拙者は何を隱さう元攝州高槻の城主高山右近太夫友祥入道南坊齋の一族にして毛利宗意軒と申すもの、高山右近太夫天主教を信ずる所よりして太閤に憎まれ遂に流罪となつて家斷絶いたし、一族東西へ離散いたした。拙者も諸國流浪の末十餘年前より當地へ移り、世を忍んで賤しき漁業を業として居ります 忠『さては傳て聞く高山の一族毛利宗意殿にて任せしが、其れは〳〵珍らしい方に御面會いたし大慶此上もない、して只今の御言葉は 宗『されば拙者要時世を忍ぶといへども内心は密に時機を待つて、隙もあらば徳川の礎を覆へし、天下を我有になさんと心膽けて居る、併し斯る大事は一人にて企て及ぶべき事にあらず、多數の豪傑志を同じくして天下を計らねば仲々成就いたさん、然るに今年に至つて天地様々の奇瑞を示し、天帝如來の教法再興いたさん事疑ひあるまじと思はるゝ事あり 忠『シテ大禁の天主教、再興なさんとする其理由は 宗『されば今を去る事三十六年前、イスパニヤ國より來りし『ヒヤシエル』といふ伴天連が太閤の怒りに觸ひ。本國へ放ち還されし時、末鑑といふ書一卷を留め遺したるが仔細あつて拙者持傳へたり、其書中に

後年四九數、火牛合金時、變巨海紅色、生異花園地、天童降邦域、敬法起鴻基、英雄扶乘力、興隆不可疑。

と認めた一句がある、之仍ちヒヤシエルが今日あることを知つて認めたる未前の金言、後年四九數とは伴天連國を去つて寛永十四年まで丁度三十六年、四九三十六年の隠言葉、火牛合三金時とは仍ち今年の干支丁丑で金時とは申すまでもござらん秋三月をいふ、今月は七月で仍ち秋の初め、巨海紅色に變ず、巨海は大なる海、御覧の如く俄に赤色に變じたるは奇瑞にあらずして何と思召すぞ、異花園地に生ずとは此天草の内大江村の治兵衛といふ名主の庭に近頃金色の花開いて其名を知る者なし誰いふとなく天帝如來の愛花と評判をいたす天童邦域に降るとは仍ち天一人の神童を下して宗門を興隆することをいふものにして拙者一人の少年を知る。之れを天童と稱すべし、英雄乘力を扶くとは、貴公亦拙者の如き戰場生殘の豪傑 志を合せ死を同じくして天主の旗下に馳參することをいふ、乃ち興隆疑ふべからずとヒヤシエルが書止めたる金言、一句々々思ひ當つて思はず歡喜を叫んだり目前の奇瑞をば如何思ひ給ふぞ萱塚氏 忠『何樣不思議といふも餘りあり書中の金言更に疑ふ所あるべからず、さり乍ら天下禁制の切支丹宗之を興隆なさんとするは容易ならず、貴公も拙者も昔は知らず今の身にて兵馬を動かさん術あるべくとも思はれず 宗『アイヤ言はれな萱塚氏、兵馬を用ゆる事は拙者が掌に在り、今太平の世なりと雖も亂さんと思へば忽ち亂る、先づ拙者の意中をお聞きあれ』と茲に毛利宗意軒萱塚忠右衛門に反亂を勸めるといふ一席。

降雨に拘らず初日以來滿員
大正舘の戰禍
驚くべき戰場の光景怖るべき戰敗の慘劇我國民たるもの決して對岸の火災視すべきものに非ず

九月十日九星
酉 八月 十三日 丑 戌
本命二黑坤 除 友引

▲二黑● 誘はれ迷惑の事有る日 新事見合南方は吉晴劍 坤▲三碧● 熱の戻る事有る日 注意新事手控 常の事は吉▲四綠● 平運の日なれども新事控目の方吉 萬事擱を抛るは吉▲五黃● 他意らしき事有る日新事手控 萬事盤は妨なし▲六白● 仲よき日轉居開業入學求職 探償婚禮大なる金融を計る等皆吉▲七赤● 選擲日 轉居旅行入門名弘普請 求職金件婚禮船舶業等皆吉▲八白● 力身損の事有る日新事手控諸事は吉 一切の掛引き禁ず▲九紫● 上運の日轉居開業入學名弘求職婚禮金融業等皆吉 物に勝の日▲一白● 怪しき噂有る日注意新事手控萬事は吉 婦人のせわた焉す勿れ

子宮がんに
●子宮ハレコシイタミ●ウミチ下り
●お困の方はハガキで申込め安全なる良藥無料詳報す
兵庫縣明石東本町 長井家

小便の病
小便に幾度となく行きたくなる病
小便した後こいろ持ちあしき病
勝胱カタル尿道カタル尿道の痛る
小便ニゴリ又は膿や血の出る病
りん病しよから
右病者は往復ハガキにて照會せよ
●最良藥を詳報す
●播磨國加古川東 藤原悦

りん病
消渇で困る方 多年の慢性も
自宅にて人知れず安全秘密に治療す
良藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ
其良藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

流經新藥レスノリン
月經
閉止經過四五ケ月以内ニ應用ノ目的ヲ遂ゲ其流經作用ノ確實ナルコト
他藥ニ優越ス●藥價一瓶一圓送費内地十二錢海外卅錢切手一割増說明書三錢切手添申越進呈
振替大阪二六三七番
大阪北區曾根崎上一丁目三六地
發行所 常盤藥院

肺病
は何うして自分に分るか
肺病=に罹つたら如何にして治るか
■ハガキ=に病名を記して照會あれ
三色版圖入詳細說明書無代密封送附す
東京市本所區向島小梅町
東京藥化學研究所

たむし 水虫 錢瘡 治癒良劑
速効
直ぐ試み給ゑ
本剤は顔色の変色故身体衣類へ色附かず
田虫いんきん皮膚病も快治す
(但十二錢 廿錢 特製五十錢 一圓 送料四錢)
本舖 名古屋市廣小路通 小林盛大堂
大阪 平野町 小林大藥房
東京 龜井龍角散
全國藥店 若し無ば代金直送 郵券不苦

質
京城黃金町二丁目
永樂町(停留所北入)
堀佐營業所
(電話六三九番)

酒煙草きらひになる藥
禁酒丸……禁煙液……
どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌いになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈 其他名士
本舖 大阪市敏南通二 出商店

瀨戶皮膚科外科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戶潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

石鹼よりも
牛乳よりも
遙かに
生地の色艶が美しくなり
生れ代た樣に垢拔のする
クラブ洗粉
御洗面にも
御入浴にも
御髮洗にも
不思議な程
有効な美身料としてクラブ洗粉の顯著なる効果は遙かに歐米の高級石鹼を凌ぎ牛乳よりも卵よりも數等優る

(明治三十九年八月十八日 第三種郵便物認可) (年中無休刊 大正五年[illegible])

京城日報

第三版

九日朝刊 (夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金[illegible] ▲[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯[illegible] 營業[illegible] 振替貯金口座番號[illegible]

下關期米特電

▲八日後場(賣買あるも頭季歴され)

仁川米[illegible]

▲八日後場 兵庫後場十五圓〇三錢東京十五圓十六錢大阪前場十四圓九十九錢後場十五圓〇二錢の入電にて當地當限米不申[illegible]十二圓九十錢

▲更に不勢 [illegible]擴先天候依然好天大阪行[illegible]を受けて十二圓五十八錢と寄付ら軟軍の賣[illegible]と新規に投げ加はり[illegible]池より賣[illegible]五十錢丁度と押したる

▲前場の手振 [illegible]り返り來らん風情であるが[illegible]行や果して如何 [illegible]なる商內[illegible]八千餘石[illegible]七千餘石[illegible]五千餘石[illegible]二千餘石[illegible]

▲后の賣[illegible] [illegible]りたりとの事に[illegible]共に大商內であつた[illegible]五千餘石に達したりとの事 [illegible]

▲商內 [illegible]

[illegible] 十二圓四十八錢 十二圓五十八錢 十二圓四十七錢 (安値) 出來高 三萬八千五十石

▲賣掛代を騙る 京城西水[illegible]町生れの竹細工職櫻井林太[illegible]富山縣新川[illegible]六萬七千百石[illegible]金二十餘圓を取立て騙取したること發覺し京城地方法院にて懲役三箇月(三年間執行猶豫)となれり

酒税令の精神

京城日報

今回施行せられたる酒消費税は、煙草税と共に實施されたる地租增徴、煙草消費税と同じく、大正三年に決定せられたる朝鮮總督府財政獨立計畫の遂行に伴ふものにして、豫定計畫の實行に外ならず。

一酒に對する消費税は、好個の財源として各國之を認むる所、我邦の如く其の消費量に對して課税するもあり、或は酒精含有の飲料を政府の專賣とする國もありて、其の方法は種々之れあれども、國家が好個の財源とせる點に於ては同一也。蓋し酒は必需品と稱し難きが故に、之に對し相當の税を課するも、一般消費者は左程の苦痛を感ぜざるが爲めなり。我朝鮮に於ては舊韓國政府時代に於て、酒類について簡單なる税法を發布し、即ち五石までの酒造家には一圓、十石までの當業者には二圓を課すると云ふ如き、極めて低率なるものを徴したりしが、今日にては歳月を經る既に久しく、最早酒類に對し相當課税するも差支なき狀態に達したるに依り、今回制令を以て清酒類は一石につき五圓を課税せられ、此の外朝鮮在來の酒類に對しては猶特別に低額の税を課するに至れる也。而かも現在朝鮮人の經濟狀態に鑑み、又製造せらるゝ酒類の品質に照して、在來の朝鮮酒に對しては特別の税率を設けて負擔の權衡を圖る事とせられたり。且又今回の税法に依れば、朝鮮內の造酒は勿論、輸入酒に對しても均しく課税し、以て朝鮮内に於ける酒造業を保護して輸入酒との權衡を執りたるが故に、此の酒税は純然たる消費税の意味を有す。

新税法に依て政府は幾何の歳入を得べきや。舊來の税法に依れば約四五十萬圓の歳入を收めたりし故之を加へて約百十萬圓の收入を得る見込なりと云ふ。之を內地の酒税收入九千萬圓に比すれば寔に微々たりと雖も、酒の如きは將來益々造石數を增加すべきが故に、將來漸次增收を見るに至るべく、此税は頗る彈力性に富むものと謂ふべし。當局者は今回の酒税法を施行するに當り、特に其道の吏員を各道に配置して徵收の便を圖ると同時に、一方には酒造家を指導して酒類の改良發達を圖り以て財源の涵養に資せんとすと謂へば、本税令施行の目的は必ずや圓滿に達成せらるべきを信ず。前に謂へる如く、本税は朝鮮財政の獨立の爲めに設けられしものにして其税率も內地に比すれば比較的輕く、且つ幾多の後消費者の負擔は左まで苦痛ならざるべく、假令從來に比して稍負擔の增加するありと雖も、之れ朝鮮の經營上必要なる施設の國費を補ふものたるを自覺せば、而して政府施政の費用の殆ど全部は一般民人の福利を增進するの用途に使用せらるゝを想はゞ、之が爲めの負擔は吾人の喜んで應ずべきものにして、税令施行の目的精神の存する所、能く一般公衆が正當に之を理解せむことを希望に堪へず。

郵便爲替雜話(一)

矢野通信課長談

(一)郵便爲替制度を創始せられたる理由

佛國人は其性創造力に富めるを以て通信事業に關しても各種の便法を考案せるもの多し書留郵便制度の如き其他郵便爲替制度の如き何れも佛國に於て創始せられたるものとす抑も郵便爲替制度の開始なかりし時代に於ては送金の爲め信書中に硬貨又は紙幣等を封入するもの多かりしを以て遞送集配途中に於て盜難に罹る虞れ少なからざりしのみならず集配後も尚紛失の危險多かりしもの也又右の如く送金に種々の不便ありし爲め家族又は他人へ送附すべき金錢にして往々浪費せらるゝこと少なからざりしを以て以上の不便不利を救濟せんが爲め遂に安全且つ利便なる送金方法として郵便爲替制度を創始せられたるものとす銀行等に比すれば郵便局所は其數も多く且つ各地に普及せるを以て送金上多大の利便あるのみならず特に小額の送金に就ては甚だ利便なりとすべし

(二)郵便小爲替に就て

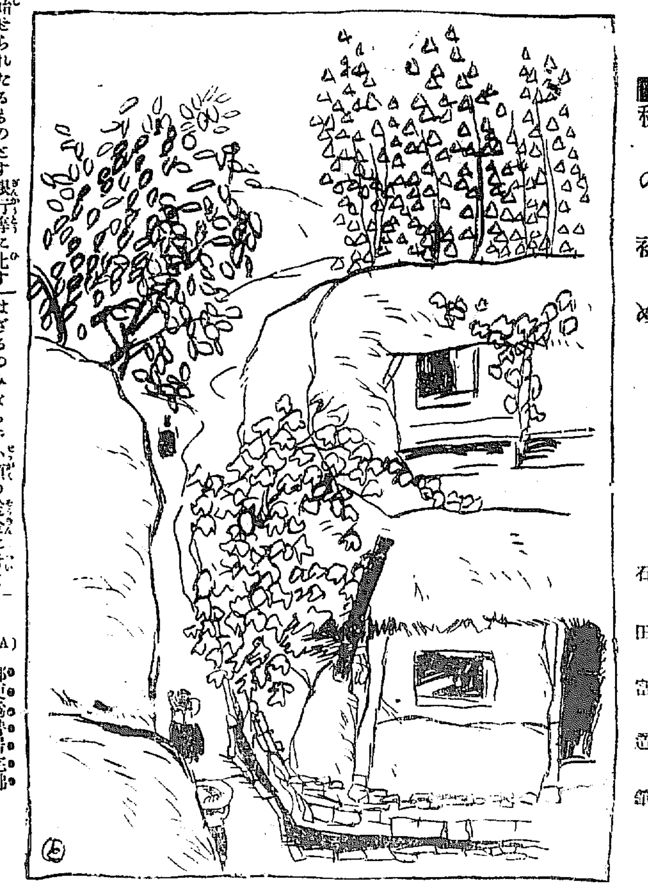
通常郵便爲替制度創始の理由は大略前項の如し郵便小爲替制度は通常爲替より遲るゝこと約四十餘年にして千八百六十年の頃之れ亦佛國に於て創始せられたるものなり蓋し通常爲替は其拂渡局を特定しあるを以て何れの局所にても拂渡を受くる能はざるのみならず小額の送金に付ては其料金も比較的低廉なる能はざるを以て此等の不便を救濟せんが爲め爲替券所有者は何れの郵便局にても爲替金の支拂を受け得る利便あるの外其手續も簡略にして且つ料金も比較的低廉なる郵便小爲替制度の創始ありしもの也郵便小爲替は即ち便なりと雖も同制度開始後は通常爲替のみの時代に比し多少盜難又は詐取の事故の增加ありしは蓋し止むを得ざるものと云ふべし されど其詐取豫防法の一として小爲替券面に特に拂渡局及び受取人宿所氏名を指定するときは多少の効果あるべきも之れに伴ふ不便なしとせず此外小爲替を線引となすときは銀行以外の者へは支拂はざるを以て之れ亦詐取豫防の一方法なりと云ふべし

(三)英米にもなき便法

我朝鮮に於ける郵便爲替規則中には英米等に於ても未だ實施なき便法あり今其二三の例を示さんに

(A)郵便爲替居宅拂

此方法は受取人の居宅に就き爲替金の拂渡をなすものにして受取人の爲めには頗る利便なりとすべし其料金は通常爲替又は電信爲替は金五錢小爲替は金三錢とす



■秋の初め 石田當造筆

放浪漫記

大谷光瑞

八月十日シンガポールに於て

(承前)ヅリアンと稱する果物ありヅリオ、ヂベチナスの果物なり、形圓形若しくは楕圓形をなし大なるものは長さ八九寸に及ぶ、外形は稜刺を有し一見食用に供ふべからず加ふるに甚しき惡臭を放ち一果卓上に在れば滿室臭あり、初て之を臭ぐ人は座に堪へざらしむ、この恐る可き外皮の中に五六房の子房あり、一房中に五六箇の核あり核の外邊に『クリーム』狀の軟肉あり食用すべきは是なり、この肉は其臭猶存すと雖も外皮の如く酷烈ならず而も稍々別樣の臭あり、其味は最良の牛乳クリームを以てするも遠く及ばず、是を嗜む者は衣を典するも惜しまざるに至る、嗜好者をして言はしめばボンペイアルフオンソを以てするも後塵を拜するに過ぎず、成熟期は七月より八月に及ぶ馬來半島及び蘭島を產地とす濕熱の地に非らざれば生せず故に印度に產せず、シーロン島には之を有せりヘラデニア植物園には高さ百尺に及ぶ喬木あり、歐洲人も久しく馬來附近に在るものは嘗て美味に昵むもの少なからず、甚しきは其味の爲めに七月馬來に航するものあり、本邦人も其嗜好者少なからずと雖も概して上流者は惡臭に辟易し之を試みざるもの多し、小生從來この果實の美を聞けり、然れども常に成熟期に馬來に在らざるを以て之を試るの機を有せず、本年始めて之を試賞す、初めは惡臭鼻を撲ち强て之を食す、三四回の後惡臭依然たりと雖も嗅覺は味覺の優勢に敵する能はず、全然ヅリアン嗜好者の一人たる資格を得申候。この果實も遠途に適せず僅々十餘日が最大限度たるなり加ふるに郵船に搭載せんとするも惡臭の爲め一般の同意を得難し、寧ろ七月成熟の期に至り航してシンガポールに至るの易きに若かず ジャクフルートと稱する果實あり、形狀は一定せず長方形あり圓形あり、最大なるものは百英斤に至るものあり、外皮は綠色より黃綠色にして小瘤全部に隆起せり、內に數多の核あり核の外邊にクリーム狀の肉あり即ち食用に供す可きものにしてヅリアンに同じ、味はヅリアンに比せり著しく劣れりと雖も美味たるを失はず、而も惡臭はヅリアンと同樣なりと雖も强烈ならず、然れども味の臭を越ゆる兩者一なりとす、樹は全然ヅリアンと別類にしてアルトカルパスインテグリフオリアと名けウルテシア(無花果の屬)に屬し、ヅリアンはマルヅアシヱ(棉の屬)に屬せり、又パパヤと名くる果實あり、カリカパパヤの果實にして外皮は深綠色にして甜瓜の如く、肉は外皮と接し中に無數の小核あり肉は黃色にして頗る風味、又甜瓜に類せり、素より中央亞細亞の美瓜に比すべからざるも猶食するに足る、この樹は全印度(極北を除く)馬來到る所有らざるなく、加ふるに週年結實せりアナナスは馬來の特產なり、印度は稍小なり、熱帶アメリカの原產なれども其培植は容易なるを以て熱帶一般に有らざるなし、シンガポール附近に產出多くしてゴム園の生長を待つ期間に之を栽培し資本に對する金利の償却に充るもの多し、この味は邦人の知る者多きを以て特記するの要なしや、高溫の蜜と醱熱の床を有せば本邦到る處栽培に難からず。

商業登記公告

左記ノ者朝鮮製絲株式會社取締役及監査役ニ當選大正五年八月貳拾參日就任シタリ
京城府本町貳丁目五拾八番地 取締役 釘本藤次郎、京城府本町貳丁目拾六番地 古城梅溪
右大正五年九月六日登記
京城織紐株式會社取締役李宙榮ハ大正五年七月二日辭任シ同年八月貳拾九日左記ノ者取締役ニ當選就任シタリ
京畿道開城郡松都面西本町貳百參拾參番地 宋達爕
右大正五年九月七日登記
京城地方法院

公告

一、所在地、忠淸南道公州郡反浦面洞德洞所在金鑛
一、鑛區、四十萬四千九百零八坪
一、許可月日及番號 大正五年二月二十三日附 第二〇四九五號
一、鑛主 忠淸南道天安郡廣德面 寶山院
一、買主 全羅北道多佳町 李和奎
一、賣主 佐々木篤太郎
一、賣買契約期日大正五年七月三日
右之通賣買契約を濟せらるに付萬一右鑛區に對し利害關係を有せらるゝ方は大正五年九月二十五日限り右方御申出相成度右期限內に御申出無き時は一切關係者無きものと認め候也
右爲念公告候也
大正五年九月九日
右買受人 佐々木篤太郎

新刊書御案內

書名 著者 定價
英文日本年鑑 武信由太郎 四、〇〇
八犬傳物語 大町桂月 九五
安價滋養食物の研究 伊藤[illegible] 六五
エドワード、グレー外交策 伊藤[illegible] 一、〇〇
禪と武士道 横尾賢宗 一、〇〇
改正陸海軍出身案內 大野壽 三八
戰線に立ちて 獨ヘツケル 一、〇〇
故郷他郷 澁川玄耳 一、三〇
遊戲と說話のとぼとけ 久世勇三 九五
世間學 浪六 九五
元祿義憤錄 上中下 塚原澁柿 特二、九〇
最近工業藥品製造法 喜多源逸 三、三〇
議會政黨及政府 上杉愼吉 二、五〇
刑事訴訟論 林頼三郎 三、二〇
會計と帳簿 森田熊太郎 七五
簡易音樂樂器沿革 中山勝次 七〇
現行保險法令集 伊藤秀壽 八〇
各國商工會議所法要義 田邊好一 六〇
綴り方教授の根柢 黑沼勇太郎 九〇
寫生を土台とした綴方教授法の原理 駒村 一、三〇
潛艇奇襲 大英國の危機 英國男爵コナンドイル 七五
大阪屋號書店 京城本町 電話二八〇六 振替京城二五三七

蠶繭 賣買 屑物業
京城府龍山漢江通八番地
河原壽夫繭絲店
電話(龍)四二二番

實業講習錄
一ヶ年卒業
自宅獨習
顧問及び贊助員は總て我國第一流の諸名士なり
總裁 大隈侯
獎學資金提供
副總裁 澁澤男
講師は帝國大學及び高等商業の各科專門教授
見本進呈
□現今は實業の智識ある實力の人でなければ通用せぬ □本講習錄は實用的學問と處世的修養法を極めて平易親切に教ゆ 故に此れに就いて一年勉强すれば實社會に必要な新智識は悉く修得せらる □先づ現在の自分に役に立ち今の社會に應用の利く學問を身に付けるのが立身出世の捷徑である
◎學科 商業簿記 銀行簿記 商事要項 商業英語 商業作文 珠算 商業數學 商業地理 商品學 經濟學 商業實務 實業讀本 商業英語 實習 處世法 科外講話 實業史
◎會費 一ヶ月分五十錢 [illegible]
只今の入會者には五大特典あり
入會金全免
東京市京橋區南紺屋町二十 實業之日本社內 帝國實業講習會 振替東京四〇一六 電話京橋八七四四・九八九

潛艇奇襲 大英國の危機
文豪コナンドイル原著 七海軍大將批評
宮家壽男氏譯 東京市囑託
獨逸海軍少將スタンツェル譯補
恐るべき潛航艇の威力を說ける本編が七提督の評論と共に倫敦ストランドマガジンに現るや英國官民をして慴然として覺醒せしめ獨逸政府は直に之を譯して對英軍備計畫を一變せりと以て如何に其軍事的觀察と最新なる科學的智識に成るかを見よ。今や大西洋を横行するドイチュラン號の壯擧を見ずや、海の將來を征服せる國の地位如何。英と弱點を伺ふ潛艇に非ずして何ぞ、對岸の英國新艦隊の百隻戰後の新世界に於ける帝國の我東海國民の一讀を切望す。
新裝幀最美 一冊 定價七十五錢 送料八錢
發賣 京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五三七 電話八〇六・四六八
東京 大阪屋號 發兌

鑛山營業
各種鑛石買入
重石買入
▲鑛物定量分析 ▲鑛山測量製圖
京城鍾路二丁目九九番地
金石商會
電話一八九九番

◎萬年ペンの權威はスワンに有り求めて誇りとせらるはスワン萬年ペンである
各地文具店に販賣す 試圖冊錄以上各種カタログ進呈
大阪平野町二丁目 スワン出張所

校舍移轉
校舍狹隘に付左記の處へ移轉す入學者は速に申込むべし
京城明治町二丁目(舊壽町)三一
京城簿記專修館

京日案內
普通 一回前金三十錢 番外 一回前金六十錢 [illegible]
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

◎外務員募集◎確實なる要保證人 大日本信託合資會社出張假事務所 南山町一丁目一番地大和屋委細面談 194

代書 清文堂 京城府廳裏門前 電話二九六五番 193

◎有給(男女)外務員招聘 永樂町二ノ七五 京城十友合資會社內 福德生命保險株式會社 181

▼御不用の古本は信用ある 古本 古樂器御賣却 電二五二七ウツボヤ 165

女子外勤員二名入用 手當及步合支給 京城本町一ノ四九 ◎松井松榮堂 電一三七八 197

◎店員入用市內に確實なる保證人を要す本人來談あれ ▲京城太平通二丁目 遠藤味噌醬油小賣部 191

◎二連獵銃 英國ボーネル製十二番口徑安價にて讓りたし(姓名在社) 192

◎松汀里光州間自働車は太田咪浦間の列車に聯絡す ▲光州加藤自働車運輸部

古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 163

姙婦產婦預所(規則申込次第送呈) ○京城產養院○ 京城南山町二ノ三五 電取次一三三九 148

番外

店員入用 年齡十六七歳 市內に確實なる保證人を要す 京城本町一丁目(電三二番) 陶榮商店 196

店員入用 年齡二十五歳以上にして是迄重石に經驗ある者雇入たし但し確實なる保證人二名を要す (姓名在社)

◎社員募集 外務員三名集金係一名確實なる保證人を要す月給其他面談優良者を厚遇す ▲京城長谷川町一九一 電話二五三四 振替口座京城二〇一七 帝國公債信託株式會社朝鮮支部 198

▲代診採用 至急 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城南米倉町 上野醫院 電話二九三四番 201

恩給 年金 退隱料 即時立替 短期無保險 利息步五毛 京城武橋町二三番地 京城日報社北方一丁 國江商會

店員入用 年齡二十五歳以下得意廻りに經驗を有する者三名入用月收步合勉强次第相當收入あり市內に保證人を要す 京城吉野町一 岩城磐商店食料品部 188

貸家 濱陽公園下見晴らしよし 日本間二室洋室六疊溫突四半湯殿物置水道付家賃三十五圓 御用の方は旭町一 白水へ 189

恩給 年金 退隱料 低利直立替 ▲極秘長期融通 ▲京城永樂町壹丁目 商品陳列館表門前 江州屋本店 139

恩給 年金 立替 一利月一步 大正館向 櫻井町 並諸公債株券取引 博多屋本店 142

◎京城春川間行自働車 南大門通[illegible] 毎日午前八時出發 貨金片道四圓 廣橋自働車組 電話二一九番 主務 金正淵 195

○ヴエルダン攻撃失敗

を公認するに等し―參謀總長の免職に對する獨紙の論評

獨軍參謀總長フォルケンハインの免職に對し伯林の日刊ポスト紙は曰く六個月間に亙る莫大なる冒險的攻撃の後フォルケンハインを召還したるは獨逸がヴエルダン攻撃の失敗を公認するに等し即ち如くんば若しヴエルダンにして陷落すべくんば獨兵五十萬を犠牲に供するも關する所に非ずとの事なりしが彼はヴエルダンに於て獨軍の精鋭を失ひ其の影響する所は今や之を北部佛國露國トレンチノ及びイソンゾ方面に見るを得べしと同紙は更にヴエルダンに於ける敗戰の精神的影響は今や巴爾幹に於て甚だしく之を感じ居れりと云へり(倫敦電報)

○羅馬尼軍陷穽に落つ

羅馬尼軍はダニユーブ河の南岸(國境方面)に於て獨勃軍の陷穽に陷り全軍二萬悉く捕虜と爲れりと獨逸側に依りて報せらる(桑港電報)

○希國加擔と獨の聲明

獨逸よりの報道に依れば希臘は聯合國に加擔すべく用意しつゝありと聲明せり(倫敦電報)

○希國閣議と各代表者

聯合國の各代表者は六日開かれたる希臘内閣々議に列席せり(倫敦電報)

○塹壕一哩 佛軍に歸す

巴里來電=公報に曰く、佛軍はヴエルダン戰線にて一哩に亙る獨軍の第一線塹壕を奪取せり(紐育電報)

○ハリツ火災

露都來電に曰く、ハリツは露軍の砲撃に依り火災に罹りたり(紐育電報)

○唐繼堯と雲南省長

北京政府は五日附を以て雲南省長任可澄氏の來京を命じ同時に雲南省長は唐繼堯氏をして兼任せしむべしとの命令を發せり(北京特電)

○支那巡警を抑留す

公主嶺支那街に於て支那巡警は我兵を射撃せるを以て我兵は巡警局を包圍し巡警七名を抑留せり(奉天電報)

○ウ大統領の調印

華盛頓來電に曰くウイルソン大統領は資本金五千萬弗の官營船舶局設立に關する法案に調印せり同局は普通海運業者の船舶を借り入るゝか又は之を買收して之を海運業に使用するかにあり(紐育電報)

○宮殿下御暇乞

閑院宮殿下には八日午前七時五分上野驛御發車日光行在所に御伺候天皇陛下に御對顔あらせられ十一日露國へ御出發の御暇乞を言上次で陛下より露國皇帝陛下に贈らせらるゝ御親書並に御傳言を御受領あらせられ終つて皇后陛下に御對顔御暇乞を言上し後午餐の御饗應を受けさせられ午後御歸京相成りたり(東京特電)

○遞信官吏異動

遞信省にては簡易生命保險法實施の準備として爲替貯金局及び遞信分課の改制を行へ延いて所屬官吏遞信副事務官、事務官、事務官補、屬書記二百五十餘名の進級異動を行ひ八日任命發表ありたり(東京特電)

◎安東經濟概況

八月中の安東經濟界は[illegible]に就き朝鮮[illegible]なきに苦しむに至れり滿中支那側の商況は沈滯勝にして僅に[illegible]りては支那側は非々大豆買出資金準備を始め日商側は木材の鮮滿輸出並小繁に赴きたり而して銀商は輸出貿易を阻害すること[illegible]しく折角新[illegible]を以て一般商況[illegible]至りて尤も話題せしは[illegible]りたれば市價强含みとなり一時に約[illegible]て最早仕入時季に際したれども之れ[illegible]れて目覺しき取引[illegible]貨行は稍[illegible]鈍りたるが如く多物仕[illegible]ども尙少々早く此方面未だ盛期に[illegible]又何分銀商に壓[illegible]極めて不作[illegible]用市街の空家を狙ひ居住すると共に[illegible]の四名は本年春以來一團となりて仁[illegible]烈(一八)李長深(二八)及び[illegible](一七)

○醫術開業試驗廢止

醫術開業試驗は愈々九月八日東京市小石川區永樂病院に於て施行さるゝを最後とし將來永久に廢止さるゝ事となれり(東京特電)

◎朝鮮の鑛業界

大正四年は著大の進展 總督府最近の調査に依る鑛業發展の狀況を聞くに大正四年中に於ては歐洲戰亂の影響甚しきものありしに拘はらず幸に前年來の進運を維持し大體に於て良好なる成績を收むるを得たり

▲出願の增加 同年中の出願は鑛業、砂鑛採取業を合し總計八百十四件にして前年に比すれば二百七十二件の增加を示し殊に下半期に入りては著しく出願件數を增加したり而して許可鑛區は同年末現在に於て一千二百五十一件にして之を前年末に比較するに百三十三件を增し又鑛區面積は四億三千七百二十六萬五千九百六十一坪、河床の延長四千三百四十二町二間にして前年の夫れに比し坪數に於て四千三百三十一萬四千六百二十五坪、河床延長に於て百四十五町九間の增加を見たり

▲鑛産額進展 鑛産額は鑛業權者よりの屆出未著のものあり尙ほ確定數を擧ぐる能はざるも大約一千五十萬餘圓と註せられ前年に比し百九十九萬餘圓の增進を見たり、而して稼行鑛區は三百四件にして前年に比すれば八件を增し總鑛區に對する稼行鑛區の比は三割二歩强に相當せり

▲事業の概況 事業上に於ては從來二三外國人の經營に屬するもの、外は概ね露頭部の亂採に限られ永遠の計畫を忽諸に付したりしが近年内地の有力なる鑛業者に依り漸次大規模の設計を以て開發に從事せらるゝ傾向を生ずるに至れり、即ち三井鑛山株式會社の价川鑛山に於ては出鑛の機運到來し坑所より京義線新安州驛に至る十九哩間の專用輕便軌道工事は大正四年六月を以て竣成を告げ七月營業を開始し同年中本溪湖煤鐵公司に搬出せし寶鑛額一萬五千餘噸に達せり、又古河合名會社の經營に係る遂安金山は大正五年三月製錬場の建築を了へ、三菱合資會社の黃州載寧鐵山も亦採鑛愈々進捗し兼二浦製鐵所の竣功を俟て採鑛開始の運を見に至る可く而して總督府所屬の平壤炭田及び价州、義州、新興の各金鑛採鑛事業も豫期の如く進捗し漸次鑛量の豐富なるを確むるに至り又た外國人の經營にかゝる遂安、昌城及び槐山の金鑛も益々其規模を擴張せり其他内地人に依りて經營せらるゝ諸鑛山亦孰れも採鑛に努め居れるを以て其の價値の判明するは遠きにあらざる可し

▲製錬の方法 製錬の方法は金鑛にありては混汞、青化の二法夙に行はれ加之も完備せる設備を施行せるは寥々たりしが久原鑛業株式會社は大正四年十月鎭南浦に熔融製錬所を創設し同月中旬より買鑛製錬を開始せり、此の製錬法は朝鮮に適有なる混汞、青化の難物たる硫化鑛の處理に最適なるが故に今後鮮内金鑛山の開發を促進する處尠少ならざる可し、鐵鑛の製錬は朝鮮傳來の幼稚なる鞴吹を以て農具其の他日用品を作製するものありしが近年燃料の高騰に伴ひ收支償はずして殆んど廢滅に頻せるが、兼二浦に於ける前記三菱會社の銑鐵製造所開始の曉は鐵鑛々業の勃興見る可し、又た砂金の採取方法も依然舊慣を脱せざるも近年稷山鑛山、寧邊砂金地及び全州砂金地等に於てドレッジを使用し大規模の採取を計畫せるものあるを以て之等は早晩實現を見るに至るべし

◎未墾地貸付數

開墾成功面積千七百町歩 總督府最近の調査に依れば大正四年中に於ける國有未墾地の貸附數は各道を通じ六百九十二件、其の面積三千九百七町歩にして同年末までの貸付數は二千四百五件其の面積四萬四百六十八町歩なり、而して開墾の成功を告げ其の讓與を得たるもの〻同年末現在數は三百四十八件一千七百二十四町歩なり

◎平南雜穀と棉

平安南道に於ける大豆は本年收穫豫想二十一萬七千七百二十二石之れを昨年の實收十九萬一千二百二十四石に比すれば二萬六千四百九十八石の增收にて約一割三分八厘强に當り生育良好今後天候順調なれば近年稀れなる豐作と云ふべし因に本道に於て最も多く大豆を栽培せるは大同郡を以て第一とし本年の收穫豫想高は三萬九千五百七十石なり又本年南道に於ける本年粟の收穫豫想高は總計六十六萬三千三百三十七石にして四年度實收高五十八萬九千七百九十六石に對し七萬三千五百四十一石の增收なり本年は播種期に適當なる降雨ありて生育甚だ良好其後六七月に至り降雨少なく多少旱害を受けしもあらず今後病蟲等の被害なくば實收額は豫想高と同じかるべし棉の豫想收穫高は四十五萬七千百七十八貫にして前年の實收高三十九萬五千八百三十九貫に較ぶれば六萬千三百三十九貫の增收にして本年は各郡を通じて豐作なりしため總高に於て著しき增加を示せるが本道中棉は龍岡郡作付反別最も多く十五萬六千六百九十八貫の豫想高を示せり

◎江原素六翁車中談

京城に於ける基督教協同傳道の講師として入京の途にある貴族院議員江原素六氏を車中に迎ふ、其談に曰く朝鮮は前後二回曾遊の地なりしが併合後六年を經過したる今日三度鮮地に入りて轉た隔世の感なくんばあらず、山河整ふて國豐なりとか長足の進歩には一驚を喫したり。朝鮮に於ける教育問題に就ては常に念頭を離れざるも唯雜務に忙殺され爲めに其眞精を攻究する遑なきを甚だ以て遺憾とする所なり。去りながら朝鮮教育の中に於て近來國語の普及最も著しきものあり如何なる山村僻地にある者と雖も尙ほ且つ簡單なる日本語の會話を解し得ざるもの無しと聞くに及んでは之れ

▲是に聖代の恩澤 にして吾人の最も愉快とする所なり即ち國語の普及は朝鮮の將來に於ける文野相分るゝ所なればなり幸に鮮人は古來よりして音樂趣味を有し從つて聽覺神經最も發達し居れる由なれば語學の習得上彼我共に利益する所尠からず。一般教育に關しては前陳の如く調査の歩を進め居らざれども從來殆んど儒教に依つて教養されたる者多く之がため精神教育上多少の缺陷なきに非ざりしも併合後は朝鮮教育令に準據したる新教育法に由て多々益々有爲の人材を養成せんとしつゝあるは是又大に慶す可き次第なり教育は即ち精神的なると物質的なると兩々相俟ち茲に始めて『有爲の人』を造り得るものにしてその何に偏するも所謂『有爲の人』を得可きものにあらず鮮人の精神教育は其の物質的教育と共に將來甚だ有望なり鮮人自身の發奮努力は勿論なるも内地人たる者亦大に之を指導し誘掖するの任に膺らざるべからず殊に吾人の大に期待する所は、

▲鮮人の體育奬勵 なり此點に就ては今回入京の折を利用し相當の機會だにあらば卑見を開陳せんと考へたるが古き諺なれども健全なる身體ありてこそ始めて健全なる精神之に宿るものなるべし。而して一般青年の最近に於ける趣向を窺ふに漸次に健全なる方面に發達を遂げつゝあることは疑を容れず近來彼の暑中休暇中に於て催されたる青年子女の游泳、登山其他の運動等の如く一種の便教育が比々として行はれたる

◎仁川近海漁況

八月中仁川近海を中心として漁業に從事したる漁船數は約一千餘隻にして例年當季は天候不順にて暴風雨に遭遇する事屢々にして打擊を蒙る時期なるにも不拘本年は比較的風波の被害僅少なりしを以て漁船の操業に支障を見ざりしと且つ漁船數に於ても昨年に比し約八十隻を增加したる等にて水揚金額に於て約四千餘圓を增加したり而して秋季漁業中重なる漁業は海月纜漁なるも昨年に比し本年は幾分を減じたるの氣味あり是れ氣候の關係に依るものゝ如し八月中の漁船入港數及び水揚高を示せば日本船九百五十隻一萬四千五百十八圓鮮船三百十隻二千四百八十圓釜山其他日本より委託品百五十圓なり(仁川)

◎下賜金慶北配付割

六月兩陛下より御下賜に相成りたる御手許金慶北道割當九百九十八圓なるは既報の如くなるが道廳にては是を左の比例に依り各郡へ配當せり(錢位)

▲達城一二、一〇▲義城五四、八〇▲靑松四〇、八〇▲盈德一、三〇▲慶州九、六〇▲淸道七、〇〇▲星州七七、三〇▲金泉二四八、八〇▲尚州六七、三〇▲榮州六八、八〇▲軍威三八、七〇▲安東三三、八〇▲英陽一、〇〇▲迎日一一、二〇▲永川四、六〇▲高靈一一三、一〇▲漆谷六四、二〇▲善山三七、〇〇▲醴泉三四、〇〇▲鬱陵島六、八〇

◎八回移民査定期

東洋拓殖會社にて目下申込みを受けつゝある第八回移民は九月末日を以て各府郡の受付を締切る事となり居れるが會社にては十月に入り直ちに申込者承認不承認の査定に取掛り其の趣きを申込者に通達する事となすべし

◎京畿秋蠶上簇終る

京畿道に於ける秋蠶は意外の好成績を以て昨今大部分の上簇を終了したり産繭額は約一千五六百石の見込なりと

◎江原素六氏入京

基督教協同傳道のため渡鮮したる江原上院議員は八日午後九時南大門著入京京城ホテルに投宿せり停車場には野田副總裁、渡邊高等法院長、亥角庶務課長、三井技師其他五十餘名也き

◎山田局長療養

東上中の朝鮮銀行庶務局長山田松熊氏は客月三十日歸京の豫定なりしも東京にて發病し療養の爲め大學病院に入院せしも但し症狀は患ふる程に非ずと

◎木村憲兵分隊長著任

弘前憲兵分隊長より光州憲兵隊附榮山浦憲兵分隊長に轉任を命ぜられたる憲兵中尉木村滿次氏は八日午前内地より入京直ちに憲兵隊司令部に至り著任の申告をなしたり因みに同氏は八日夜南大門發列車にて赴任の筈

人事消息

▲松永京畿道長官 九日午前九時南大門驛發著

▣南言北語▣

歐洲戰爭には大分不思議な事も多いが例の獨逸の怪潛航艇ドイチユランドが亞米利加から獨逸に歸つて來たなんて之も不思議の一つだ▲何故かと云ふと同艇が碇泊して居たバルチモーアの沖合三哩には聯合國の軍艦が約五哩の距離で八隻も目を皿の樣にして見張つて居た▲だから其の間を潛つて逃げ出すなんて頗る興味があつた▲處が怪艇はまんまと歸つたので愈々以て不思議になつた▲何うして來たかと云ふ事は未だに疑問であるが艇長のケーニヒは港外の水深が百五十呎以上あらば心配はない▲敵の軍艦の底を潛てゆくが其れ以下なら軍艦の間を通るから少し困る▲が底には蓋もあるからと云つて居た相な▲而し港外の深さは百五十呎以下であるのに何うして逃げたか▲其の蓋と云ふのは怪艇出帆前五分に一米國汽船が出帆した▲續いて怪艇も沈んだが其儘であつた▲多分怪艇は此の米船の底へくつ付いて巧みに敵艦隊の目をかすめたであらうと▲聞いて見れば獨逸の輕業の何時もながら巧いのには感心せざるを得ない▲大邱の虎疫騷ぎも虎疫でなくて先づ仕合せ▲大山鳴動して云ふんぢやない鼠が一匹イヤ虎が一匹飛び出した日には彼れ丈けの騷動ぢや濟まぬ▲虎列剌と云へば彼れは希臘語で雨樋即ち建樋と云ふ事だ相な▲其の意味は水が下から出る下が閊へると上からも出ると云ふので其の症狀から命名されたもので虎列剌は世界的通語だと▲虎列剌が流行すると何時も悲劇喜劇が大分飛び出す面白い處を二三御紹介申そう▲先日大阪で夫婦喧嘩の揚句女房が夢中になりそんなら虎列剌になつて死でやると亭主を威す積りで蛸だの生魚を矢鱈に食つて到頭本物になつて死んだ▲最一つ京都で旦那が入院したのを妻君と妾が見舞に行つて旦那と妻君が衝突し▲妻君大に立腹し虎列剌になつてやると生魚をウンと食つた結果赤痢になつて旦那と向ひ合で唸つて居る相な▲之れなどは喜劇中の喜劇だらう虎列剌も存外味な事をやるテ

▣江原長老の來京を迎へて 大塊居士

人心離散神の收むる秋は今

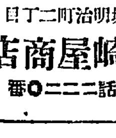
◎書籍案内◎

政治家としての桂公
蘇峰文選
大正政局史論
獨逸經濟的勢力
獨探日記
孫子諺義
聖教要錄
日本書紀
白隱和尚遺墨集
大將乃木
乃木大將
朝鮮鑛業要覽
酒餅論
月江和尚錄
字考正誤
元田先生進講錄
古今世界名婦鑑
不如歸
歷史の片影
外交奇譚
自然と人生
青蘆集
青山白雲
縮刷思出の記
思出の記
探偵異聞
俳諧師
豐太閤
八軒長屋
同後編
同續編

京城日報代理部 京城太平通壹丁目 電話長六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇

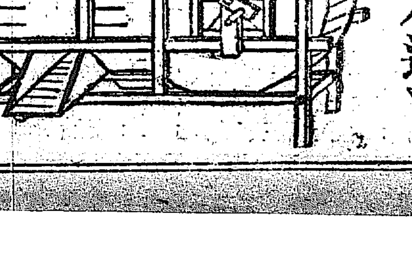
購買公告
一木舟 貳拾壹隻
右購買ス詳細ハ九月二日朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正五年九月九日
第十九師團經理部

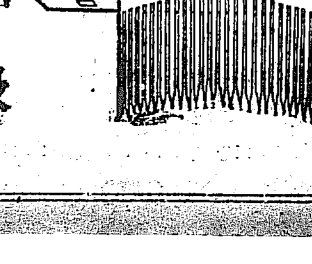
高島易斷鑑定所 田村照德
京城本町三丁目(郵便所前向)
謹啓私儀是迄明治町に於て從事罷在候處今般爲都合前記の處に移轉仕候間續て御鑑定向一個月限り特に鑑定料相減し御思召により懇切に御鑑定可仕候地方は前同樣並に返信料相添御申込次第迅速明瞭に御回答可申上候敬白


寫眞機 寫眞材料
京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二二〇番

各種染料
御地方より御注文は各洋行品御希望の通り買次可致候
染料商 豐 後藤商店 京城長谷川町五十八 電話二一一八番

模範牛乳 純粹培養ヨーグルト
場主獸醫 肥塚正太
京城・道東町四 東亞牧場 (電話五二番)


△篩類▽ △唐箕▽ △千石通▽ △萬石通▽
京城南大門通三丁目 三輪商會事 戸田春藏 電話三八六番 振替京城三七五番
工場 旭町二丁目 黃金町一丁目


△稻扱▽ △鎌類▽ △籾摺臼▽ △箕類▽

▲金融の狀況 [illegible]月初旬に於て其の頂上に達し日支兩側共遊金徒に横溢し遂に放資の途[illegible]更なり各銀行の銀預金は近年稀に見る巨額に達せりと云ふ中旬以降とな[illegible]拂制度の實施あり市價强含と相俟て米穀輸出を可能ならしめ金融は稍々[illegible]達するは尙前途程遠かる可き豫想[illegible]
▲貨物の集散 金融上述の如くなる[illegible]分作說さへ傳は[illegible]末に到り哈爾濱方面へ向け多少の移出ありたるに過ぎず豆粕は秋肥料とし[illegible]は獨り綿糸布の荷捌良好にして毎戸相當の荷動きを爲したれども砂糖其他[illegible]

張司法總長を訪ふ

日本と支那とが非常に近くなつた 一週間もしたら荷物も著く

北京胡同客舍にて特派員 神崎憲一

前參議院議長張繼氏を國民黨本部に訪問すると相憎留守なので止むなく司法總長張耀曾氏假寓に訪ふ。門票には『雲南』と割書した下に張寓とある。是れは張耀曾氏の姓ではなくて友人の姓なのだ。刺を通ずると待つ程もなく應接間に案內される此處の

應接間は西洋式で

はあるが谷總長邸のものより更に簡單だ。中央に長方形の木卓を据ゑ數脚の椅子をして取圍ましめた許りで外に裝飾もない。僕等の入るのと入れ代りに數人の來客は一人の靑年を殘して皆別れを告げて去つた。此靑年は思ふに張氏の秘書か。張氏は小肥りのした肉付のいゝ好男子で金縁の眼鏡が肥つた肉に喰ひ込んでゐる『さあどうぞ、どうぞ』と丁寧に椅子を薦める調子の何處に支那風もない程に日本通である。其れも其筈、氏は章駐日公使などより

數年先輩の法學士

なのだ。氏は司法總長の椅子に就くべく北上したのではあるがまだ兩院の承認が無い間は眞の意味の國務員として就任する譯には行かない、と云ふ理由の下に、無論黎總統や段總理に敬意を表し意見開陳はしたけれども入京以來未だ登廳もしなければ閣議にも列しないでゐるのだ。其言ひ分には一寸他と變つてゐて面白いと思ふ處がある。『まだ荷物も何も來ないものですから

友人の家に假寓し

てる樣な譯です。一週間もしたら荷物も著きませうし、其內には家も持ちませう……貴下は何日お出でした？あゝ左樣ですか汽船ですか、汽車ですか』と話し振りから何からそつくりの日本人である。谷鍾秀氏に比すれば一段と日本語がよくわかる。『汽車でお出になるより汽船の方が便利ではありませぬか、確か汽車は一週間何回か外直通しない模樣ですから……』と京奉線の事情に曖昧な調子だから却て此方から京奉線列車

運轉時間の改正と

共に非常に便利になつて毎日運轉する樣に成り更にエキスプレスだと京城北京間僅に四十時間餘かかないし、京城からは東京に行くより北京に來る方が短い時間で濟む――など語ると『そうですか、便利になりましたね。日本と支那とが是れで非常に近くなつた譯ですね。一體世間では日支親善々々と口で許りは言ひますが其日支親善の一番大切な事は双方がよく諒解し合ふと云ふ事です、知り合ふと言ふ事です。夫には

お國の人は盛んに

支那に來、支那からも盛んにお國に行きしてあらゆる方面から知り合はねばなりませぬ。夫れには交通の便利になると云ふ事がどれ丈け助けになるか知れませぬ』と日本人の言ひ度い事を言ひ相な事を言ふ。其處で僕は嘗て支那衆議院議員の日本議院參觀と云ふ事が問題と成つた事があつた樣であつたが今度は愈々立派な議員が復活されたのだから是非共議も復活させて實行させる樣にしては奈何と言を進めると『兎に角議院政治に就ては

日本は支那の兄で

すから是非實現さしたいと思ひます夫れに議員許りでなく新聞記者の日本觀察も必要だと思ひます。私は議員と新聞記者と一緒に日本觀察をするといゝと思ひます。嘗て新聞記者の日本觀察と云ふ計畫も立てられた其頃はまだ袁さんが大總統時代で然も帝制問題が八ケ間しく成らうとして居る時だつたが、袁さんの撰んだ視察員の顏觸れは皆ンな帝制派許りでしたから私は不賛成を唱へました。新聞記者の視察團と云ふならあらゆる方面の

代表者を選ぶべき

だと思ひます。帝制派の人許りではいけませぬ』と仲々堂々たる議論である。僕は是非議員、新聞記者の日本觀察を希望し更に其時には最も日支間を近接せしめてゐる朝鮮鐵道を經由して行かれたい意味を叙べた。

▲唐紹儀氏から電報が來た

しかし外交總長になるかは判らぬ

話は轉じて行つて次第に時事問題に接近して行く。『唐さんは來る事は來ますか？最近何かお便りはありませぬか？』と唐紹儀の去就問題に就て質すと『唐さんは一週間位したら來ます。一昨日(九月一日)も

衆議院で唐さんの

外務總長就任承認に就て電報で知らせてやりましたら其返電も來ました『それでは唐さんは外務總長に就任されるのですか？』『さあ其處は私には判然判りませぬ。私が北京に來る時のお話では兩院が承認したら兎に角上京すると云ふ事でした。上京した上で黎總統や段總理とお會ひなさるでせう。そして唐さんの政見と

總統や總理の政見

と合致すれば就任してもいゝと云ふ御意見なのでせう』至極尤もの理由と言ふべく、唐張兩氏の間には尙是れ以上の內的疏通ありとしても致て强硬に出る譯にも行かない。此日は其儀辭して相分れたが中一日を隔てゝ參議院に於ても唐外務總長の承認があつた。唐紹儀氏の是れ迄の經歷から言へば何彼と批評もしたい處が無いでも無いとは言ふものゝ然し何を言ふにも

現時國民黨中一二

と稱すべき大立物であると同時に全支那に於ても捨つべからざる人物である。況や段總理內閣成立の爲めに南を汲む事鮮からざる今日、此大切な人物たる唐氏の意見を容るゝに吝ならざるや言ふ迄もない。僕には唐氏は必ず就任する樣に思はれてならない。(九月三日夜)

◉康寧殿裡 綾羅の輝き

李太王殿下第六十五回の御誕辰祝賀

李太王殿下第六十五回の御誕辰祝賀會は八日の朝から德壽宮內に於て行はれた、此日李王殿下及び妃殿下には輕車を驅つて

◇昌德宮から 訪問ありました李堈公殿下李埈公殿下を始め朝鮮貴族、李王職事務官並びに女官の人々も德壽宮に伺候し御誕辰の慶びを申しあげた、午前九時半になると李王及び李王妃殿下には康寧殿に於て進床の儀式を執らせられた、これは

◇朝鮮の古式 により李王殿下が御父君に對し食膳を進めさせらるゝ儀式であるが康寧殿の純朝鮮式御殿には古典的な朝鮮の古樂を吹奏する間に數々の純朝鮮式食膳が供せられた、此の時李太王殿下には普通朝鮮の人が著るやうな周衣に普通の人と同じ黑冠を召され薄き水色の絹に花形の模樣ある上衣と

◇眞白き絹の 袴にて御氣色いたく優れて居られた、また李太王殿下にはカアキ色陸軍大將の制服に大勳位菊花大綬章を佩び妃殿下は眼もあやなる古式朝鮮の大禮服に萠黄の上衣淺黄色の御袴を召され猶ほ金色燦爛たる御冠と小さき桃色の御靴などいとも御美しく拜せられた、斯くて

◇鳳味龍湯の 御料理を召されたる三殿下には﨟たけし女官の給仕にていとも御滿足に御慶びの盃を重ねさせられ約二時間にして式を終らせられた次ぎに李堈公殿下、李埈公殿下並に御親屬の朝鮮貴族を始め貴族中の耆老職及び李王職々員百十三名を招かれたる李王殿下の午餐會は正午過ぎより樹間がくれの

◇惇德殿に催 されたこれも亦祝賀の內宴とは云ながら西洋式の食膳にて朝鮮貴族には李載覺侯、李海昇侯、李達鎔侯、朴泳孝侯、李址鎔伯、閔泳璘伯、李完用伯など何れもフロックコートにて居ならびなか〳〵の盛儀であつた、猶ほまた午後三時よりは李王妃殿下の御催しに係る婦人ばかりの御宴あり陪食を仰付かりし婦人には

◇古き李王家 の御親屬たる永平君夫人、完林君夫人德安君夫人を始め其の他朝鮮貴族夫人、李王職高等官夫人等あり何れも萌黄の上衣に白絹の裳など色とり〴〵のあでやかさであつた、かくて夜の十時ともなれば惇德殿前の老槐に壽康の文字を現はしたる篝籠のイルミネーション輝き廣き御殿には天勝一座の奇術の數々ありて午後十時に此の芽出度き祝賀日を終つた

◆床しき御內宴 殿下の御滿足

猶ほ國分李王職事務官の談に曰く古來朝鮮にては日本內地と同じく誕生日を祝ふ習慣があります、殊に宮中にては誕辰の御祝ひは三日ばかりも打つゞいて行はれたもので此の日は內外百官の拜賀する者

▦徹宵して お祝ひをしたものであつた、祝賀の御宴に列する官妓や、舞樂の官妓は既に二三箇月も前から練習を重ねるといふ有樣で總て事が非常に盛大に行はれたといふことである供膳の奉る御料理は十三道の國々より其の地の特產物を獻納したもので例へば濟州島の鮑と、江原道の胡椒、蜂蜜、黃海道の海鼠、咸鏡道の明太魚等數

▦限りなき 山海の珍味をならべられたものであつた、併し這回のは李太王殿下の御誕辰を李王殿下が御祝ひになる御內宴であるから萬事質素に執り行はせられたものであるが兩殿下共非常な御滿足であつたと

◉漂流中に發狂す

難波の帆船に搖られて多島海に七日間

山口縣都濃郡大津村高松彌吉所有帆船住榮丸(一百七十噸)は去る八月十二日鎭南浦より全羅南道務安郡大黑山へ到著硅砂一百噸を積取りたる上二十二日午後三時同島を出帆し

▽筑前若松へ向け 航行の途中二十三日正午頃より天候次第に險惡となり打寄する波浪船內に浸入し來れるより乘組船員は必死となりて排水に努めたるも倒々積載の硅砂にて排水口を塞ぎ排水の途を失ひたる爲め海水はたちまち船內に充滿し遂に同日午後六時に至り濟州島西北約十七浬の

▽沖合にて右舷に 傾斜したる儘沈沒するに至れり船長石川縣羽咋郡福浦村中谷久五郎(三五)以下水夫和歌山縣有田郡廣村桶谷庄次郎(三二)石川縣羽咋郡西海村上田松太郎(五六)富山縣射水郡新湊町片口米次郎(二七)同上本鄕鉢次郎(十八)濟州島新右面新興里金光昊(二八)同面北村里尹永學(三二)慶尙南道統營郡白前村淺邊只市(三七)等八名の乘組員は此れと同時に傳馬を卸し避難の用意をなせるが中谷船長及び渡邊の二名は

▽傳馬に移乘せん とする際高浪に卷込まれて行衞不明となり其の他は首尾好くこれに移乘したるも傳馬は忽ち波浪の爲め顚覆し漸く舊の通りに引起せば又顚覆する有樣に今は早や氣力も盡き既に絶入らんばかりなりしを斯くてはならじと互ひに相勵まし折柄流れ來りし母船の帆檣を十文字に傳馬に結付け辛ふじて顚覆を防ぎつゝ波の間に〳〵漂流する中早くも二日間を經過し二十五日を迎へたるが同日午前八時頃

▽揪子島の沖合に 差掛りし邊りを漂流中本鄕水夫は突然發狂し前途約三浬の彼方に小島を見るやこれに泳ぎ付かんとしたるものか直に身を躍して海中に飛び込み續いて片口水夫又た板子一枚を抱へて其後を追ひたるが兩人共忽ち行衞不明となりたり殘る四名は眼前此の悲劇を見て悄然爲す處を知らず且つ飮まず食はずの事とて氣力全く盡き死人同樣となりて漂流する中

▽幸ひにも遭難後 七日目の二十九日午後十一時頃に至りて珍島郡鳥島面小中關島に漂著し島民に救助せられたるが此時は既に足腰立たぬ上ものさへ言へず疲勞衰弱の極に達し居たりとかくて一同島民の同情により靜養する中間もなく元氣を恢復し四日遞信局所屬光輝丸に便乘し木浦に來著したるが好く〳〵幸運なる人々と云ふべし尙右遭難に伴ふ物質上の損害は船體七千圓硅砂二百五十圓の由

□惡い病氣は斯うして防ぐ

警務部の方針

京畿道警務部に於ては今回虎疫豫防計畫を立て第一期各項は此際緊急に應じ逐次之を實施し第二期の各項は京城仁川其他樞要の地に虎列拉患者發生したる時一齊に之が斷行を期する由第一期及び第二期の要項は如次

▦豫防の心得 嘔吐又は下痢を起したるときは速に醫師の診察を受くること、暴飮暴食を愼むは勿論食物は成るべく不消化物を避け且煮燒したるものを用ふること、飮水は成るべく一旦煮沸したるものを用ふること、飮食物及び飮食物用器具には蠅類の附著せざる樣覆蓋を設くること、蠅の驅除を圖ること、未熟腐敗の果實其他不良飮食物を攝取せざること、便所及井溜其他不潔の場所は時々掃除を行ひ清潔保持に努むること、檢疫委員の設置を申請すること、汽車檢疫、船舶檢疫及び陸上檢問等を行ふこと、臨時防疫[illegible]を施行すること、死亡者特に急性病死者の病名死因等探査すること、清凉飮料水其他食物の販賣を取締ること、傳染病院隔離所及び隔離所の準備を整ふること、鮮人は屎尿を河水溝渠等に投棄する惡習あるに付之を禁絶すること、飮食物の選擇殊に賣肉其他飮食店等は嚴重に之を勵行すること、通俗的衞生講話會を開催すること

▦發生した時は 第一期各項の豫防方法を一層勵行すること、豫防心得を印刷し各戸に配布すること、消毒班を擴張し之を統一して警務部直隷となすこと、成し得る限り井水、河水の使用を禁止すること、水道栓を一般に開放使用の途を講ずる事、傳染病豫防令第十七條第一號乃至第八號の事項を施行する事、市場、調劑等の効能を付せる賣藥の販賣者に注意する事、狀況之を要するに至れば學校を閉鎖すること、豫防注射を施行すること、必要と認むる區域に於ける檢便を施行し關係者の發見に努むる事、遮斷區域に水道水を供給すること、必要に依り鮮人洗濯場に制限を加ふること

▦試驗管五萬本

防疫費三萬圓に達す

神仙爐に於ける檢疫所では檢疫醫を增殺して盛んに檢便を行つて居るが二三日前に其の檢便に要する試驗管を五萬本買入れやうとしたが釜山では間に合はず京城へ注文すると京城でも不足なので已むを得ず京城と釜山と兩方で調達したさうだが一本三錢と見て其の價が千五百圓なりと尙ほ虎疫防遏に要する費用は其の筋から惜氣もなく幾らでも支出するので仕事がやりよいが先月十九日檢問開始以來今日までに投じた防疫費は既に三萬圓に達してゐる尤も此の內には目下工事中の修繕家屋六百七十五坪の建築費なども含んでゐるのであるが尙ほ今後虎疫終熄迄には莫大の費用を要するであらう

◉匕首で斬殺

不品行を發かれ 酒に乘じて恨みを晴らす

去る六日午前二時過ぎ黃海道沙里院本通り位田藥店前の支那料理店三順興方にて鮮人盧禎厚(三五)が李東抱(三一)を鋭利なる匕首にて殺害したる椿事あり加害者盧は元沙里院憲兵補助員を勤めたる事あり被害者李の實兄某は馬洞憲兵補助員にして互に相識の間柄なるが同夜宵の口より兩人外二三名と前記料理店にて會飮し口論を始めし末盧は拔手も見せず前記の刄物にて斬て掛りたれば其の餘の二名の鮮人は恐れを生じて逃げ去りたるを得たりと李の咽喉腹部と臆嫉は滅多斬に斬り附けて其の場に即死せしめ自分は匕首を提げたる儘何れともなく逃亡したるが急報に依り同地憲兵隊にては時を移さず全部出動し犯人搜索に著手したるが程なく同六時頃同地町はづれなる水田中に加害者の潛伏せるを發見し難なく逮捕し引續き取調べ中なるが瑞興支廳よりは田中檢事現場に急行したり殺害の原因とも見るべきは加害者盧が嘗て補助員在職中不品行にて常に賭博を爲すとの事を被害者李が聞知りて上官たる憲兵に密告し其れ等が因となりて盧は遂に免職されたるを深く遺恨に思ひ居たりしと云へば全く飮酒の上勢に乘じて恨みを晴らしたるものならんと

◉輕井澤に虎疫發生す

東京府下に於る虎列剌患者日々に增加し輕井澤にも虎疫患者發生(東京電話)

◉拳銃强盜首魁が京城で捕はる

大邱南町の富豪徐佑淳氏宅を襲ひしピストル强盜犯人搜査の要件を帶びて來京しゐたる朴警部は六日夜朴某なる者を捕縛したるが此者はピストル强盜團の首魁なるものゝ如し

◉本夫殺し判決

江原道鐵原郡新初面金谷里金永云(五三)は同里洪善之の妻金姓女と明治三十四年中私通したるを本夫善之に發見されたるより寧ろ同人を殺害せんと決心し時機を窺ひ居る內明治三十五年春頃所用にて善之が同面の峠道を通行中を待伏せて洪善之を毆殺したる一件は此程京城地方法院にて永云は懲役十年の處分となる

◉故高山校長葬儀

仁川公立商業學校長故高山繁雄氏の葬儀は九日午後四時途中行列を廢し仁川寺町妙覺寺に於て佛式にて執行する由

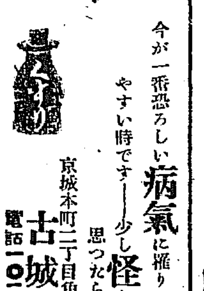
◉盆栽品評會

京城に於ける盆栽同好者の發起に係る盆栽品評會は九日十日の二日間明治町東拓隣清香園にて開催する筈なるが定めし盛況を呈するならん因に十日(日曜日)夜は京龍同業者の盆栽競賣ある由なり

[illegible]仁川木[illegible]少年四人[illegible]里百三十三番地居住の李點石(一八)外[illegible]金銀を全部之れを酒色に[illegible]消費し居たる事判明し此程捕へられ裁判所に送られ各懲役十箇月宛に處せらる(仁川)

金牌受領 髪を黑く長くつやを出させらく として髪のぬけを防ぐ妙

內科 小兒科 醫學士 森定吉 芙蓉醫院 京城本町二丁目(京城會社向側) 電話二六三番

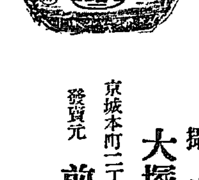


今が一番恐ろしい病氣に罹りやすい時です――少し怪しいと思つたらスグ弊店へ 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

日韓書房 新版報告
旭東軒 乾山著 實地圖解 盛花瓶華秘法 定價一圓 送料十錢
文章講習會編 山水紀行 定價三十五錢 送料八錢
鳴雪 子規 碧梧桐講 子規句集講義 定價九十錢 送料八錢
後藤宙外共著 ペン習字手本講話 定價八十錢 送料八錢
長編講談 幡隨院長兵衛 定價三十錢 送料八錢
京城本町二丁目 日韓書房 電話一四五番 振替一一二五番

改築落成
謹告
各位樣益御機嫌宜敷大慶至極に奉存候陳ば弊館義中休を利用し衞生を重んじ舘の內外を改築致し目下落成仕候に就而は著改築祝として今回內地より特に女義界の泰斗たる竹本林之助の大一座を迎へ御且那方の御聽きに供し度來る九月九日より花々敷開演仕候間何卒倍舊の御引立あらんことを奉希上候 敬白
明治町 浪花舘
大阪女義太夫大一座 太夫 竹本林之助
大阪因社の總取締 三味線 豊竹東馬綱 外美人連十五名出演
當る九月九日より開演

◉朝鮮鑛業界空前の良著 定價壹圓貳拾錢
朝鮮鑛業要覽 附錄 朝鮮地質鑛產圖
朝鮮に於ける地質及び鑛床調査の沿革地質の大要より鑛床の概說鑛業の概況を說き代表的鑛物及び土石と其產地に入りて各鑛物の鑛床鑛脈を十數章に細別して一々之を說明し終に鑛業に關する法規其の他の鑛業關係法規を載せ猶鮮明なる彩色別にせる朝鮮地質鑛產圖を附し朝鮮全土の地質及び鑛石分布の狀況を一目瞭然たらしめたり朝鮮鑛業界の羅針盤たるべし
『附錄 朝鮮地質鑛產圖定價八拾錢』の分賣に應ず
發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



攝津灘 大塚釀造所吟製
發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院 電話一三・二七・二九〇番

女鳩

渡邊默禪

(九九) 嬲り物

仲に入つた平馬にとつては實際扱ひにくい事件であつた。一方は放縱な女さ小理窟とでかたまつた新らしい女のやうな拗者であれば、かた〳〵は言出したことは五分でも後へ引かぬといふ一徹な女。それが縺れ合つたのであるから、まるで熱灰のなかへ水をさしたやうな氣味で沸騰する。まして盜難そのもの丶事態が頗る怪しげな色調を帶びてゐて、よく女同志に有勝な故意から來た小細工らしい形跡があつて見れば、片手落しに住江ばかりを壓しつける譯にはいかず、といつて威丈高に證據呼はりをする秀子の言分にも無理はなし、どつちを如何したらよいか、一時はその取鎭めかたに苦心したのであるが幸ひ住江の方がやさしく折れて出たので不本意ではあるが差向きの所そんなことにして、ゆるりと事情を糺して見よう、そのうちには主人も歸るから、と姑息な考でやつと鳧をつけたのであつた。

住江が倘しも秀子の秘密を握つてゐなかつたならば、とても其樣な侮辱を忍ぶことが能きなかつたのであらう。けれども今に復讐して眩さうと思つた意氣地とが、鳩子のために盡さうとする眞心とが、力強く內にはたらいて、全く自分といふものを捨てさせた。そして、どんな苦痛でも怺へるだけの勇氣を與へた。彼女はかくして泣きながらも秀子の言ひなり次第になつた。女中頭から逆落しにお炊どんの低い位地に降つた。

これで平和に一段落がついたのではない。黑蛇のやうに咬合ひ絡み合つた二人の怨と怨とは、更に於以上の激しい暗闘をつゞけた。

その晩から臺所に隣つた狹い三疊の部屋に引下つた住江は、新參のお炊同樣にお竹の差圖をうけて、息をつく間もなく働かなければならなかつた。水は汲ませられる、風呂の火は焚かせられる、板の間に雜巾がけはする、鍋釜はぴりぴりと磨砂で洗はせられる、不潔物は手でさらつて一々芥箱に捨てさせられる。奥から下つた襦袢から足袋、湯文字までも曹達をかけて揉ませられた。

時はまだ二月の末である。切るやうな水道の水にひたし續けた手は、もう性のなくなるほど凍れ切つて、ぴり〳〵と疼む。でも湯は使はれぬ、火は瓦斯を燃す時より外見ることも叶はなかつた。

お竹は勿論、朋輩として彼女を待つのではない。恐ろしい泥坊として看守をするのである。苦役をさせるのである。使ひ立てるに何の容赦があらう。思ひ遣りがあらう。彼の心では自分が月給をくれて抱へ込んだお炊どんのやうに思つてゐた。自分が監督長官だと大きくなつて威張つてゐた。

で、板の間の拭樣がわるいといつては叱言を聽く、鍋の洗ひ方が粗匆だといつては劍突を吃はせる、火の焚き加減がまづいといつては毒吐くうつかり口應へでもしようものなら鬼女のやうな見脈になつてびたりと頰を毆り飛す始末。住江の方では天窓から呑んでかゝつて、何と言はれても默つて、只笑つて濟ましてゐたから、よいやうなもの丶、それは眞面目に受けた日には、とても一時間だつて我慢の仕切れたものではなかつた。

お孝はをり〳〵臺所へ來ては、その狐のやうな目を光らした。さうしてさも小氣味よげな冷笑を浴せかけた。何のことはない、敵狀偵察といふ格である。

南米倉町朝市場通仁濟病院跡 內科小兒科 花柳病外科 入院隨意 上野醫院 電話二九三四番

斯うまでしたなら、いかな住江でも我を折つて出て行くだらうと豫想されたことが、飽までもしんねり強く辛抱して、微塵もそんな氣振を見せない所から、や丶持餘したといつたやうな樣子が、四五日目になつて住江に知れて來た。もう長いことはなからう。今日にもお二方から歸るといふお知らせがありさうなものだと、待りに門外の方ばかりを氣にして、郵便配達の來る度每に驅出すやうにしてゐたが、そんな便りは皆目いて、是非何とか言つて來なければならぬ鳩子の返辭さへ達がなかつた。そのうちに又もや彼女の足下から一つの騷ぎが起つた。それが前よりも最つと重大な意味を持つた或る事だつた。

皮徽科 入院隨意(診察夜九時迄) 皮膚病 黴毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍 京城明治町二丁目(元旭町) 日曜祭日午後二時迄 佐藤醫院 (電話一一七三番)

□大田湖南吟社小集(上) (九月五日於月波樓)

課題 柿、秋の夜、蜩、絲瓜

落柿のころび合ふたる畑の筵 雅溪
干柿の軒に貝殼堆し 同
長き夜の雨を語れり旅役者 同
犬狂ふや寺領の村の柿の宿 如風
[illegible]とれば友なき胡地の夜半の秋 同
柿赤らむ筑波語や村の人 月波
竹縁に猫の足跡や吊し柿 同
蒲刈るに鎌の光りや蝗飛ぶ 同
蝗追ふ女垢泌みし襟の凹 紅星
棚ゆるむ雨後の絲瓜の雫哉 同
ポトリ音して落ちたる柿を鵲の いかり
本來の澁きを柿の吊されて 同
丘の家の熟柿落れり火事消えり 桃雨
淫風漏傳へ一山の柿澁し 同
賊去るに起きる隣や夜の長き 同

新刊紹介

▲世界公論(九月號) 中華民國建國策之基礎(今井博士)戰後の經濟戰(井上博士)北米に於ける獨人の陰謀(ウイルソン大統領)不良少年の精神狀態(谷井博士)人類發達の歴史及び將來(谷井博士)プロテスタント敎の根本要義(海老名博士)等の外總て好文字たらざるはなし(十五錢東京市小石川區大塚窪町二四世界社)

▲實業界(九月號) 化入の秘訣、通信販賣經營法、錦配當の研究、當てた文房具店、女店員の監督法、新半舞臺式陳列、引札廣告の改良小賣業將來の變革等依例商業實務家必讀の好文字を網羅せり(二十錢東京市小石川區大塚窪町二四實業界社)

▲國語教育(九月號) 本號には文化史的見解より見たる國文學、形式的方面より見たる第二の讀本、地方の國民的說明に就て、問題のローマ字、東京のアクセントに關する外人の研究發表の心意活動發達の研究等の重要記事を收む(二十五錢東京市牛込區早稻田大學前國文館英書院)

讀者の領分

▲湯錢の高いといふ事は五日の紙上に値下賛成生の斷案で明白である此上は値下げを斷行せしむるにあり彼等同業者は其の高きを知るも是れを斷行せざるべし值下げすれば浴客多く却つて利する處多きも曖昧にして此の理を解せざるは却て當業者の損害ならずや(賛成生)▲一區一錢五厘の學生回數乘車券は普通の回數券と同じに使用してよかつたのに此度(イ)記名御本人以外の方御持参の場合(ロ)表紙の付かざる券御持参の場合(ハ)表紙の區間姓名年齡の相違せる場合(ニ)登校以外に御使用相成りたる場合は無効と云ふ喧しき規則が出來ました其の內でも表記の區間及び登校以外に使用が出來ぬとは窮屈で仕方がありません(回數使用者)▲龍山の九十何號かの官舍の猿面藤吉郎は二人の小供を虐待する事甚しく實に目も當てられぬ弟の七才になるのは最う長生きは出來まいとの大評判(近憐の老婆)▲時節柄お世話ぢやせうが南米倉町の山の上へは穢物掃除が一週一度も來ないから何時も此方から御出張を願はねばならぬが何うか以後は大概考へて來て貰ひたい實に因る(掩鼻生)▲高い〳〵と云へば限がない湯錢許りではない京城は最早內地同樣だのに總ての物が高い一とつ商業會議所で一定の標準を定めて根本的物價から家賃から湯錢から理髪料から車代迄を發表して貰ひたい(緊同盟會員)▲防疫の爲め一時隔離さるゝ連中の中には隨分我儘や不平を云ふ人がある其れ處ではあるまい少々の犧牲位は喜んで社會の爲め擲はなければならぬ其樣な我儘者にこそ虎疫が食いつくと好い(大邱實見生)

大阪期米(八日)

寄付 當限 一四、三八 先限 一四、七〇
高値 [illegible]

リ五錢と跌れたるも八十九錢と押して引先十一圓五十八錢と同…寄付たるも買物多く直に五十錢丁度と押したるが押目は又買物多く三錢と返したるも買物尚多く更に四十八錢と跌れたる…

▲㊦の大商内

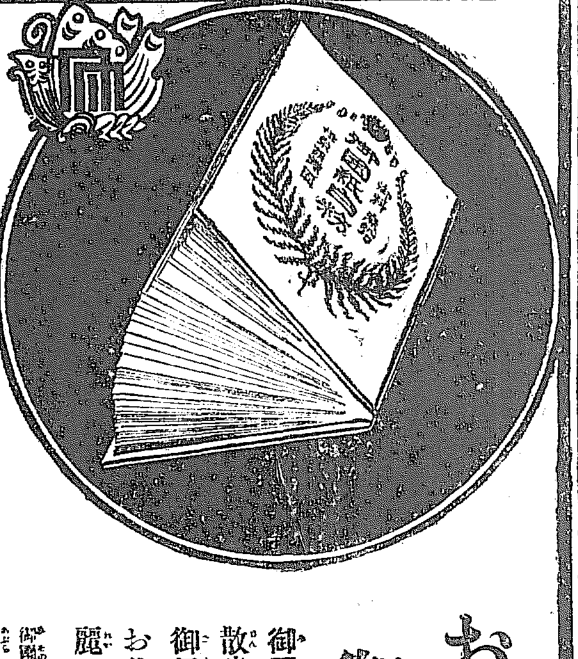
▲今筋の買

八日の十一月限

四十九錢 五十錢四十[illegible]錢四十九錢八錢九錢八錢 九錢九錢七錢八錢七錢

平均値段 十二圓五十二錢 十二圓五十一錢 十二圓四十九錢

郎(二十)は京城旭町一丁目賣藥商石政某方に雇はれ市仁丹百三點外數…



御園紙白粉

お顏直に御便利な

御園紙白粉を、御旅行、御散歩、其他凡て御外出の折御用意遊ばせば、汗や埃でお化粧が汚ましてもスグ綺麗に化粧る事が出來ます。

御園紙白粉は紙質が丈夫で、香がよく、お顏の脂を除り、汗を押へてお手輕に美しくお化粧直が出來ますので至極御便利で御座います。

御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(159)

茂木式特許製桶

「ほまれ」味噌

製造元 日本醬油株式會社京城出張所 電話六二四五番

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液 小瓶二十錢 徳用四十錢

今東京で大評判の白美の元素色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人、美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際ゲンソ液本舖 松本藥店

秋の今から次亞燐のんで 肥つて強壯で顏色元氣 冬の寒さに勝ちたまへ!!

次亞燐 滋養大關

本舖 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

タイヨー萬年毛筆

曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし

京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

大邱浦項間自動車時間

上り 大邱發 … 下り 浦項發 … (時刻 [illegible])

電話一一七番 大塚農場自動車部 大邱出張所

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 關東都督府命令船 第六共同丸 九月八日後四時入 九月十日前九時出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話(一〇八番)
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 釜山町(電話二四四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 九月十七日 正午出帆
三河丸 九月廿八日 正午出帆
仁川海岸町十丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸 九月十八日 後四時出帆
○大有丸 九月廿四日 後四時出帆
○神代丸 九月十一日 後四時出帆
○秀吉丸 九月十一日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二二二三番 鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會願候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

○全羅丸 九月九日 ○京畿丸 九月九日 ○黃海丸 九月十三日 ○咸鏡丸 九月廿三日 門司より釜山各港經由基隆航路 釜山發
○穩城丸 九月十日 ○昌平丸 九月八日 ○鏡城丸 九月十四日 元山より各港經由雄基行 元山發
○忠淸丸 九月十五日 ○平壤丸 九月八日 城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行 元山發
○永興丸 每月廿八回 北久味、五里浦行 元山發
○咸德丸 九月 日 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 長生浦方魚津寄港 釜山 浦項發
○三浦丸 九月十二日 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 釜山發
○濟州丸 ○統營丸 各港經由麗水行 ○巨濟丸 ○慶賓丸 (三日目一回水浦行) 每日 釜山發
○順天丸 三日目每ニ 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 木浦發
○慶興丸 九月十三日 各港經由濟州島行西廻 木浦發
○慶興丸 九月十一日 南多島海列島行(月三回) 木浦發
○公州丸 九月 日 各港經由濟州島行(東廻) 木浦發
○宗信丸 九月十二日 海州他各港經由、德洞又は白翎島行 仁川發
○江原丸 九月十五日 青島、大連、芝罘行 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 九月十日 九月 日 各港經由木浦行 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 每日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路遊覽航路を除く開運新御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行 須磨丸 九月廿一日 安東丸 九月十八日 大智丸 九月廿四日 後五時出
×木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 九月十四日 信濃川丸 十月二日 後二時出
×群山、釜山、橫濱行 福州丸 九月十三日 湖州丸 九月廿六日 後二時出
○木浦釜山關門、神戶、大阪行 天智丸 九月十二日 後二時出
○鎭南浦、大連行 信濃川丸 九月廿七日 信濃川丸 九月九日 後二時出
○大連直行 福州丸 十月三日 湖州丸 九月二十日 正午出帆
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 漳州丸 九月十日 正午出帆
○淸津、浦潮行(元山出帆)城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 印 平丸 九月十六日 安島丸 九月廿二日 後二時出
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 宮島丸 九月廿四日 基隆丸 九月十三日 湖北丸 後四時出 前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候 ●御乘船客は本船出帆一時間前に御乘船可被成候 ●×印は一等客御断り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番五〇番 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番
●中國四國前州各港行船客に對し一割引を以て遊客切符發賣仕候